

テーマ
10

教科とのかかわり

国語



青森の文学 太宰治・寺山修司を学ぶ

SDGsに関連した
体験プログラム

学習のねらいとその効果

- * 太宰の故郷で、その文学を育んだ津軽の風土と生家にふれ、大切なものを探し続けた小説「津軽」の「私」と同じように、生きることについて考えを深める。
- * 作品を発表するだけでなく、全国組織を作り、俳句雑誌まで創刊した青森の高校生 寺山修司。時代を先駆けた寺山の、その歩みをたどり、表現することについて考えるきっかけとする。
- * 作者の心情や意図と創造的な工夫などを理解し、作品に対する見方を深める。

根源を知りたくはないか?
太宰文学とテラヤマ・ワールドの



故郷・金木町から 太宰文学をひも解く

太宰治は明治42年6月19日、大地主・津島源右衛門の第十子六男、本名・津島修治として誕生し、13歳まで五所川原市金木町に現存する青森ヒバを贅沢に使った生家で暮らしました。大地主ゆえに周囲とはかけ離れた環境の中で育ちました。太宰は第一創作集『晩年』に収録されている「思ひ出」や数々の作品の中で、生家や生家人々について語っています。

1944年、『津軽』の執筆を依頼された太宰は十数年ぶりに故郷に戻り、津軽を旅することで、自分を見つめ直すことができました。自らの生き立ちを語り「忘れ得ぬ人々」との再会の様

子が描かれています。太宰にとって故郷とは何か。家族とは何なのか。今でも威風を放つ太宰治記念館と金木町の風土に触ることで、太宰文学の根底にあるものを感じるとともに、生きることについて考えます。他の主な代表作として「走れメロス」「人間失格」などがあげられます。

1945年7月の青森大空襲から1949年までの4年間、寺山修司は父親の実家がある三沢市で過ごしました。9歳から13歳の多感な少年時代に刻まれた記憶は、後のテラヤマ芸術の原風景となり、三沢市は前衛芸術家として時代を駆け抜けた彼の故郷となったのです。その地に建てられた記念館には、寺山修司の足跡が、彼が表現した意味深な言葉とともに様々な形で残されています。足跡を探し見つけ出した数々の作品から、表現することについて学びます。

「表現の宇宙」が広がる テラヤマ・ワールド

寺山修司の表現の場は、短歌・俳句・詩・演劇・映画・写真・競馬・評論・エッセイなど多岐に渡り、その前衛的な表現は海外からも高い評価を得ています。多彩なジャンルで生み出された多

体験プランの一例

「青森県近代文学館」で青森ゆかりの作家とその作品について学んだ後、「太宰治記念館 斜陽館」や「寺山修司記念館」で、それぞれの作家の生涯と作品に触ることで、さらに理解を深めます。

青森県近代文学館

太宰治、寺山修司、秋田雨雀、三浦哲郎など県内出身作家13人の作品と生涯を学ぶ
※希望に応じて解説員が詳しく説明
※近代文学ガイドコーナーで
映像観賞も可能



太宰治記念館「斜陽館」

太宰治の生家と蔵を活用した展示室を鑑賞



太宰治直筆原稿「走ラヌ名馬」 五所川原市／提供

寺山修司記念館

寺山の舞台を再現した展示室を鑑賞



こちらオススメ!
小説「津軽」の像記念館(中泊町)

幼い頃の太宰治に文字を教え、本を読んであげた子守りのタケ。太宰治は作品の中で「私の一生は、その人に依って確定されたといつてもいいかも知れない」と書いています。



※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

i おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

青森県近代文学館

小中高

お問い合わせ先 **017-739-2575**

住所／〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館2階
ウェブサイト／<http://wwwplib.pref.aomori.lg.jp/viewer/info.html?id=30>
アクセス／JR「青森駅」より青森市営バス「社会教育センター前」下車
徒歩約1分
開館時間／9:00～17:30(10～3月 9:00～17:00)
入館料／無料

展示見学(30～60分)

明治以降の文学に影響を与えた青森県を代表する作家13人を中心紹介した常設展示のほか、年数回テーマ別の企画展を実施しています。

新型コロナウイルス感染症対策実施
・団体での見学(7名以上)をご希望の方
は、事前に電話でお問い合わせいただきま
すようお願いいたします。・観覧の際には、
周りの方と適切な間隔をとってご観覧くださ
い。・順路に従ってご観覧ください。
・37.5℃以上の発熱があった場合は入館
をお断りさせていただきます。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
通年	9:00～17:00	※1	無料

※1 新型コロナ等、感染対策として現在は人数制限があります。7人以上の団体見学は要問合わせです。

太宰治記念館「斜陽館」

小中高

お問い合わせ先 **0173-53-2020**

住所／〒037-0202 五所川原市金木町朝日山412-1
ウェブサイト／<http://www.plib.pref.aomori.lg.net/dazai/index.html>
アクセス／津軽鉄道「金木駅」より徒歩約7分
開館時間／9:00～17:30(10～3月 9:00～17:00)
入館料／小・中学生250円(団体200円)、高校生400円(団体300円)
※団体は20人以上

寺山修司記念館

小中高

お問い合わせ先 **0176-59-3434**

住所／〒033-0022 三沢市大字三沢字淋代平116-2955
ウェブサイト／<http://www.terayamaworld.com/museum/>
アクセス／青い森鉄道「三沢駅」より車で約20分、
または八戸市街より車で約45分
開館時間／9:00～17:00 ※入館は閉館の30分前まで
入館料／小・中学生60円 高校生110円※小・中学生は土曜日無料

館内見学(60分)

「職業・寺山修司」と語った寺山修司の俳句・短歌・詩・映画・演劇・作詞・エッセイ・写真などの多彩な活動を、机や舞台を使ったユニークな展示で総合的に紹介する記念館。小学4年から3年半、多感な少年時代を過ごし、創作の原点ともいわれる三沢市に1997年開館。年2回入れ替わる企画展も合わせてご覧ください。
●体験人数／約60人

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
通年	9:00～17:00	最大60人程度	無料



こちらも
オススメ!
寺山修司記念館の
遊歩道

記念館の外には歌碑まで続く遊歩道があり、道順を示す木柱には寺山の短歌が刻まれています。歌碑の前から小田内沼が一望でき、6月から7月下旬はスイレンが見頃。

本州の最北端に位置する青森県。その厳しい風土は、太宰治・寺山修司・葛西善蔵をはじめ、個性的な文学者を数多く輩出して来ました。青森県近代文学館では、本県を代表する13人の作家の直筆資料や遺品のほか、様々なジャンルで活躍した本県ゆかりの文学者の著作などを常設展示しています。ぜひ当地を訪れ、青森県の近代文学の魅力に触れるとともに、全国有数の文学県といわれる本県の風土を実感していただけたらと思います。

現地からの
メッセージ

青森県近代文学館
文学専門主幹
竹浪直人さん

テーマ 11

教科とのかかわり

社会



「りんご王国・青森」を探ろう
ヒト・モノ・コトを支える

SDGsに関連した
体験プログラム



りんご産業を学ぶ

学習のねらいとその効果

- *りんごの品種、生産や流通、加工、農業の果たす役割を学ぶ。
- *りんごの農作業体験を通じて、りんごづくりの苦労や喜びを学ぶ。
- *一大産業に育成した関係者の努力について学ぶ。
- *板柳町ふるさとセンターの取組みからは、地域の特性を生かした地域づくりの事例を学ぶ。



生産量日本一を誇る、青森のりんご誕生エピソード

明治8(1875)年、3本の苗木から始まった青森のりんご栽培。最初に試植した菊地権衛は、青森りんごの開祖と言われており、青森県にりんご栽培が適することを確かめ、栽培技術を広めてりんご主産地となる基礎を作りました。明治42(1909)年には北海道の植栽本数を上回り、全国1位に。昭和38(1963)年には、史上最高の生産高である3,437万箱を記録しました。

手間ひまかけて作り出す 美味しさと豊富なバリエーション

りんごの剪定は1月末から3月にかけて行われます。すべての枝に日光が届くように木の形を整える難しい作業です。4月～8月には肥料散布や、薬剤の散布が行われ、その間にりんご園の草刈りも実施されます。5月中旬に行われるのは受粉作業。6月から7月は、実すぐりの時期。



係者の努力によって苦難を乗り越え、より良質なりんごが栽培し続けられています。

現在、栽培面積は20,400ha(2020年)、生産量は409,800t(2019年)と全国の58.4%を占め日本一、品質は世界一と言われています。

大きくておいしいりんごを実らせるため、実を間引きます。そして、9月からは、りんごの実全体に色がきれいにつくよう、日光をさえぎる葉を取り除き、実を回転させます。こうして大切に育てられ、ようやく収穫を迎えることができるのです。

青森では、品種の特徴を活かした加工も盛んで、栄養素を損なわず絞りたてを製品化したジュース、ゼリーやアップルパイなどのスイーツ、りんごファイバー入りの麺等々、美味しい上に美容と健康にも良い商品が数多く作られています。

りんご王国青森で、りんごの歴史とそれを支える人や事柄について学びます。

体験プランの一例

流通と農作業に重点をおいた体験、加工と地場産品の育成に重点をおいた体験を組み合わせたコースの一例です。

青森県産業技術センターりんご研究所

①試験園地の観察・見学(30分)

研究所職員の解説を聞きながら、試験園地を観察・見学します



②史料館の見学(30分)

青森りんごの生産の歴史を学びます

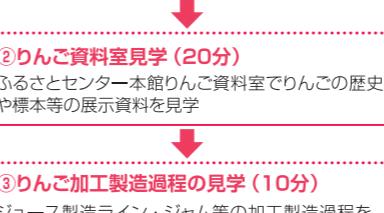


板柳町ふるさとセンター

りんごの歴史と加工・地場産品の育成について学びます

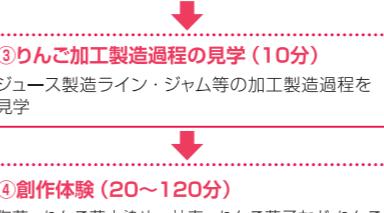
①青柳館レストランで昼食(昼食60分)

昼食後ふるさとセンター内を散策



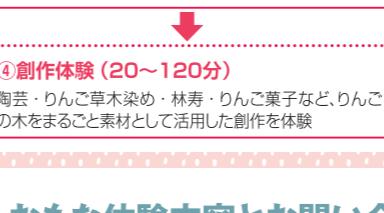
②りんご資料室見学(20分)

ふるさとセンター本館りんご資料室でりんごの歴史や標本等の展示資料を見学



③りんご加工製造過程の見学(10分)

ジュース製造ライン・ジャム等の加工製造過程を見学



④創作体験(20～120分)

陶芸・りんご草木染め・林寿・りんご菓子など、りんごの木をまるごと素材として活用した創作を体験



弘前市りんご公園

季節に応じて、実すぐりやりんごのもぎなど農作業体験ができます。約80種、2,300本のりんごの木や、約150年前に建てられた旧小山内家住宅などを見学する園地散策もご案内します。公園内の「りんごの家」には、りんごについて学べるコーナーもあります。(見学は無料)

りんご生産体験(30分)

- 受入期間／5月上旬～りんご摘み体験
5月下旬～7月上旬 りんご実すぐり体験
8月上旬から11月中旬 りんごもぎ体験
- 体験可能時間／9:00～16:30(最終受付16:00)
- 体験人数／1～100人
- 料金／無料。但しりんごもぎ体験は有料

青森県産業技術センターりんご研究所

お問い合わせ先 ☎0172-52-2331

住所／〒036-0332 黒石市大字牡丹平字福民24
ウェブサイト／https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/nou_ringo/
アクセス／弘南鉄道「黒石駅」から弘南バスで10分、
黒石ICから車で7分

新型コロナウイルス
感染症対策実施



発熱者がいる場合、
全員の入場をお断り
します。

E.りんご収穫体験(30分)

広大なリンゴ園で、おいしく実ったりんごを収穫します。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
A 通年 (定休日毎週金曜日)	10:00～12:00 13:00～15:00	1～40人	800～ 2,500円
B 通年 (定休日毎週金曜日)	10:00～12:00 13:00～15:00	1～35人	550～ 1,600円
C 通年 (定休日毎週金曜日)	10:00～12:00 13:00～15:00	1～30人	500～ 2,700円
D 通年 (定休日毎週火曜日)	10:00～12:00 13:00～15:00	1～24人	110～ 1,350円
E 10月上旬～ 11月中旬 (※1)	9:00～12:00 13:00～16:00	1～100人 ※要相談	小学生20円 中・高校生310円

(※1)天候や生育状況により休業期間があります。団体予約は10月末より承ります。
※ 定休日にご利用の場合は、ご相談ください。

※新型コロナ感染症対策として人数制限や定休日の変更があるので、事前に
お問合せください。

新型コロナウイルス
感染症対策実施



※8時台～16時台の相馬行は、りんご公園敷地内で停車します。

弘前市りんご公園

お問い合わせ先 ☎0172-36-7439

住所／〒036-8262 弘前市清水富田寺字沢125
ウェブサイト／<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/ringopark/>
アクセス／JR「弘前駅」より弘南バスで約20分
「常磐坂入口」下車、徒歩約7分

四季折々の季節と共に岩木山を眺めながら園内散策し、春にはりんごの花を楽しみ、8月上旬から

11月中旬はりんごの収穫体験を楽しむ事ができます。りんごの家では、春から夏にかけて、りんごにこだわった様々な企画展も開催している他、ジャム、ジュース、雑貨等、約1200点ものりんごグッズを販売しております。何人来ても楽しめる「弘前市りんご公園」に、ぜひ遊びに来て下さい。

現地からのメッセージ

公益社団法人
弘前観光コンベンション協会
施設管理部 主事
弘前市りんご公園担当
佐藤 卓さん

テーマ 11

青森りんごの生産と加工



SDGsに連携した
体験プログラム

4 食料自給率を
高めよう
8 食文化を
育む
11 食文化を
育む

ふれあって感動する ~農作業体験と農家民宿~ 津軽地域

学習のねらいとその効果

- * 季節に応じた農作業を農家の方と一緒に汗を流しながら体験することを通じ、農業の大切さ、食糧の大切さ、働くことの喜びと尊さを学ぶ。
- * 昼は農作業体験を行い、夜は農家の方と一緒に食卓を囲んで語り合うことを通じ、青森特有の方言や食事など地域に根ざした文化を学ぶ。
- * 農家の方との心と心のふれあいを通じ、かけがえのない思い出をつくるとともに、自分自身や家族、友人のことを考え、成長するきっかけとする。
- * 食料自給率の低迷や後継者問題などの農業問題や日本の農業の将来について考えるきっかけとする。



津軽地域の農業と農家の暮らしから
どんなことを感じるのだろう

津軽の豊かな「食」と「農」を学ぶ 食農教育

青森県の中西部に位置する津軽地方。岩木山を仰ぎ、岩木川の恩恵を受けた大地では、りんごをはじめ米・野菜・花きなどの栽培が盛んに行われています。

この他、津軽地方では、弘前市の「弘前里山ツーリズム」、鰯ヶ沢町の「白神自然学校一ツ森校」も修学旅行生を受け入れています。

青森県内の受け入れ農家は、 安心・安全の農家民宿

農業・農村体験の実施にあたって何よりも優先されなくてはならないのは、安全・安心です。青森県の受け入れ農家は、すべて旅館業法の営業許可をきちんと取得している農家民宿です。法律の基準を充たす安全な施設で、賠償責任保険への加入、事故発生時のマニュアルの配備が義務づけられているほか、食中毒の予防対策や保健所・病院・警察・消防署と連携し、夜間も含めた緊急時の連絡体制なども万全で、日本赤十字救急法救急員が常駐しており、緊急時には、適切な処置や、迅速な対応が可能です。また、受入農家民宿の登

この広域団体には、現在、次の団体が加盟しています。農家蔵のまち、農村景観百選指定のまちとして平成27年にディスカバーランド農山漁村(むら)の宝に選定された平川市の「農業生産法人株式会社グリーンファーム農家蔵」、青

農業全般(田植え・りんご・野菜など)、共同調理や地域文化の継承などの生活体験を行っています。



安心・安全の農家民宿
青森県の受け入れ農家は、すべて旅館業法の営業許可を取得している農家民宿。事故発生時のマニュアル配備や賠償責任保険への加入なども万全で、病院・消防署・警察・保健所と連携し、緊急時の連絡体制を確立しています。

1泊2日 体験プランの一例

受入農家と対面後、受入農家自家用車にて各農家宅に移動し、到着後は季節ごとの農作業を体験。農業にふれながら農業と食糧の大切さを理解し働くことの喜びを味わいます。食事づくりでは、津軽の食文化を学びます。



- 1農家受け入れ人数⇒4~6人
- 雨天時の対応⇒雨天時の対応:多少の雨の場合は雨具を着用し、農作業を体験していただきます。この他、農家により作業小屋やビニールハウスで農作業体験、又は屋内で地元の文化の体験をします。
- 事故への対応⇒グリーン・ツーリズム賠償責任保険に加入。宿泊日には体験研修の終了状況を取りまとめる等、事故等に対応する体制を準備します。
- 引率者の宿泊先⇒地区内施設を紹介します。
- 事前学習⇒体験事例DVDを貸し出すほか、学校側との情報交換を行います。
- 事前交流⇒受入前に生徒さんと農家は手紙のやり取りを行います。必ず農家から返信が届きます。

弘前里山ツーリズム

小中高

お問い合わせ先 ☎0172-82-1055
住所 / 〒036-1341 弘前市大字宮地字川添77-4
ウェブサイト / <http://www.hirosaki-satoyama.jp/>
アクセス / 黒石ICより平川市尾上地区まで車で約5分

弘前里山感動ふれあい農家体験(2時間~2泊)
弘前里山の農家の、日帰り又はファームステイで、りんご、米、野菜、花、どうもろこしの農作業や生活文化と自然ふれあい体験ができます。

農林水産省子ども農産物交流プロジェクト「子どもふるさと夢学校」指定地域団体。公認コーディネーターが日程プログラムやモデルルートを作成し、提案いたします。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
5月中旬~7月中旬 8月下旬~10月中旬	日曜 9:00~16:00 月曜~金曜 9:00~16:00 JR鰯ヶ沢駅より車で25分	4~120人 (宿泊の場合は9:00~翌9:00)	要相談

くろいし・ふるさと・りんご村

小中高

お問い合わせ先 ☎0172-54-8210
住所 / 〒036-0411 黒石市湯澤字派15-4
ウェブサイト / <https://kf-ringomura.jmdfree.com/>
アクセス / 黒石ICより車で約10分

水清く、あずましの里で農業・農家民宿体験

小中高

りんごの栽培(摘花・摘果・収穫等)、野菜の栽培・収穫などの農作業体験を行います。石窯ピザづくり・藍染体験、ねぶた祭りへの参加、よされ踊りなど地域文化に触れる生活体験を行います。

受入期間	体験人数	料 金
通年	最大5~20人	要相談

現地からの
メッセージ
津軽・ほっとステイ
ネットワーク
理事長
工藤清隆さん



現地からの
メッセージ
弘前里山ツーリズム
会長
村上美栄子さん



四季の彩り豊かな自然は、豊富な「食」を生み出し、津軽の様々な暮らしの文化を築いてきました。人情と素朴さで、人々との出会い・ふれあいを大切にすることこのホットな農村は、第2の「ふるさとづくり」に賛同です。私たちは、農産物の生産過程や農業と食料の大切さ、地域に根ざした食文化を学ぶ食農教育をコンセプトに、緊急時の態勢を確立し、事故・自然災害発生時のマニュアル配備、グリーン・ツーリズム賠償責任保険加入・民宿営業許可登録の受入農家による「無事故で感動のファームステイ」を行っています。

津軽の中心である弘前はりんご作りが主な農業、桜や岩木山の自然、ねぶた祭り・弘前城等の文化が共生共存している地域です。農業体験や食体験・農家の暮らし体験(ファームステイ)などを用意して、民泊営業許可登録をしている農家さんが笑顔あふれるおもてなしを致します。

「農業の大切さ」「自然のすばらしさ」「人の心の温かさ」を体感して豊かな人間性を育むことができるあずまい(心地よい)弘前での体験学習をプロデュース致します。

SDGsに関連した
体験プログラム

ふれあって感動する

~農作業体験と農家民泊~

県南地域

学習のねらいとその効果

- * 季節に応じた農作業を農家の方と一緒に汗を流しながら体験することを通じ、農業の大切さ、食糧や食の大切さ、働くことの喜びと尊さを学ぶ。
- * 昼は農作業体験を行い、夜は農家の方と一緒に食卓を囲んで語り合うことを通じ、青森特有の方言や食事など地域に根ざした文化を学ぶ。
- * 農家の方との心と心のふれあいを通じ、かけがえのない思い出をつくるとともに、自分自身や家族、友人のことを考え、成長するきっかけとする。
- * 食料自給率の低迷や後継者問題などの農業問題や日本の農業の将来について考えるきっかけとする。

暮らしにふれて何を思うだろう

県南地域の農業と農家の

町全体で交流をサポート
達者村のグリーン・ツーリズム

青森県南部地方の拠点・八戸市の西部に隣接する南部町では、水稻や野菜のほか、さくらんぼをはじめとする果樹栽培が盛んです。この地域では、平成5年より農作業体験や農家民泊を意欲的に受け入れ、都市住民との交流によって町の活性化を図ってきました。平成16年には青森県と協働で「※達者村」を開村し、町への長期滞在や定住を見据えた取り組みを展開しています。平成17年にはそれまでの取り組みが評価され、「JTB交流文化賞」や「オーライ!ニッポン大賞内閣総理大臣賞」などを受賞しました。

受入団体である「達者村ホームスティ連絡協議会」は、農林漁業体験民宿28軒で構成され、100人までの受入れが可能。事故発生時マニュアルの配備、グリーン・ツーリズム賠償責

任保険への加入、関係機関と連携した緊急時の連絡体制の確立など、安全・安心面の体制も充実しています。

※「達者」とは、健康・長生きし、物事に熟達することを意味し、交流によってお互いが「達者」になろうという想いが込められています。

地域の持ち味を生かしながら
豊かな体験の場を提供

広域で連携した取り組みを行っているのが「三八地方農業観光振興協議会」です。南部町、三戸町、八戸市、田子町、階上町、五戸町が構成員となり、「達者村ホームスティ連絡協議会(南部町)」「さんのへホームスティ連絡協議会(三戸町)」「南の郷ツーリズム協議会(八戸市南郷地区)」「たっこ・ツーリズム受入農家の会(田子町)」「はしづみグリーン・ツーリズム協議会(階上町)」「青森ごのヘグリーン・ツーリズム協議会(五戸町)」の農林漁業体験民宿約70軒が、各地域の持ち味を生かしながら最大200人まで受け入れています。また、宿

泊だけでなく、日帰りでの体験研修も受入れています。

十和田市では生産量日本一のにんにくをはじめ、長いものなどの畑作、畜産、内水面漁業、稻作、林業が盛んに行われています。この地でグリーン・ツーリズムを展開する「十和田農業体験連絡協議会」は、20軒で構成され、日帰りで最大100人(民泊30人)までの受け入れが可能です。その他、「七戸町かだれ田舎体験協議会」では日帰り最大50人(民泊28人)まで受け入れが可能です。安全・安心対策はもちろん、おもてなしの心を第一に受入内容の向上・充実に努めています。農作業の後は、農家の方々と一緒に調理した長いも料理などを味わいながら交流を深めます。

安心・安全の農家民宿
青森県の受け入れ農家は、すべて旅館業法の営業許可を取得している農家民宿。事故発生時のマニュアル配備や賠償責任保険への加入なども万全で、病院・消防署・警察・保健所と連携し、緊急時の連絡体制を確立しています。

2泊3日
体験プランの一例

- ①入村式
- ②対面式
- ③各農家へ分散



終日農作業体験 ※学校関係者は、協議会事務局とともに各農園を巡回します。

【作業内容の一例】

■三八地方農業観光振興協議会

■十和田農業体験連絡協議会

■七戸町かだれ田舎体験協議会の各作業内容

5月…りんご(人工授粉・摘花・摘果)、田植え等／田植え、野菜・きのこの収穫等
6月…さくらんぼ(さくらんぼ)等／野菜の収穫・播種等
7月…水田の草刈り、梅もぎ取り等／ニンニク・野菜の収穫等
8月…野菜の収穫等／ニンニクの乾燥・調整、野菜の収穫等
9月…りんご(除袋・葉摘み・収穫)、稻刈り、食用菊収穫等／稻刈り(下旬から)、ニンニクの植付け等
10月…りんごの着色管理・収穫／稻刈り(中旬まで)、長芋の収穫等
冬季…りんごの木の枝の剪定作業等

【雨天時の対応】

各農家の作業体系に基づいて、作業小屋やビニールハウスなどにおいて農作業や農産加工を体験します。

【食事】

郷土料理や地元食材を中心とした各農家の献立により一緒に調理します。



3日目 離村式

- 事前学習 体験事例DVDを貸し出すほか、学校側との情報交換を行います。
- 事故への対応 グリーン・ツーリズム賠償責任保険に加入。24時間体制で事故等に対応する体制を準備します。
- 事後交流 受入農家による電話・メール・手紙・訪問などを継続して行います。
- 引率者の宿泊先 地区内の施設を紹介します。

i おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

三八地方農業観光振興協議会 小中高

お問い合わせ先 ☎0178-84-2123

住所／〒039-0892 南部町大字苦米地字下宿23-1

アクセス／八戸自動車道八戸ICより車で約20分、南郷ICより車で約15分

農業体験学習と農家民泊(半日～2泊3日)

受入会員の自宅に宿泊し、農家の田んぼや畠でその時期に合わせた農作業(稻作、果樹、野菜)を体験します。また、受入会員と一緒に自分たちの食事の調理体験も行います。

※日程の相立て等、学校側の相談に応じますので、お問い合わせください。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
通年	8:30～17:00	4～200人	要相談

達者村ホームスティ連絡協議会 P61参照

さんのへホームスティ連絡協議会 P63参照

青森ごのヘグリーン・ツーリズム協議会
竹洞兼雄・修子夫妻



南の郷ツーリズム協議会会長
藤田建蔵・とわ夫妻



入村式をして受入農家と対面し、各農家に分かれます。2日目、3日目はじっくりと農作業を体験。農家生活を通して、農業や人のふれあいの大切さを直に学びます。



七戸町かだれ田舎体験協議会 小中高

お問い合わせ先 ☎0176-58-7109
(一社)しだれ観光協会

住所／〒039-2501 七戸町字荒熊内207

ウェブサイト／<https://www.shisinohe-kankou.jp/kadare/>

アクセス／JR「七戸十と田駅」隣接七戸町観光交流センター

田舎生活体験(半日～2泊3日まで)

にんく、長芋、ゴボウ、米などの農作業体験や、食文化体験、創作体験、和の心体験、雪国体験ができます。



※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

受入期間	体験人数	料 金
通年	日帰り～100人(要相談) 民泊～30人(要相談)	要相談

たっこ・ツーリズム受入農家の会 P63参照

青森ごのヘグリーン・ツーリズム協議会 P63参照

南の郷ツーリズム協議会 P63参照

はしづみグリーン・ツーリズム協議会 P63参照

私たちの住む五戸町は豊かな自然、農業資源に恵まれた米作りを主としながら、にんく、長芋・りんご・桃などの農作物を生産しています。また、倉石牛や馬肉、シャモロック鳥も特産物となっています。平成25年に初めて修学旅行生を受け入れました。農業体験を通じて農業の大切さや地域の人々、文化にふれあいながら、豊かな自然や美しい景観の中で皆さんと交流できる事を楽しみにしています。

私たちの住む南郷は、四季折々の食に接することができる、豊かな自然に恵まれている所です。春は山からの贈り物である山菜が豊富で、夏から秋にはブルーベリーはじめ色々な果物が実り、これらを利用した特産品も多くあります。この豊かな自然の中での農業体験を通して、農業や食の大切さを実感していただきたいと思っています。私たちは皆さんと一緒に交流出来ることを楽しみにしています。

青森で深く学ぶ 青森県「深」探究プログラム

問い合わせ解く力から、問い合わせ立てる力へ

社会で
求められる力
の変化

私たちが生きる社会では、人工知能の進歩、ネットワークの高度化などにより、2030年には現存する仕事の約50%がなくなると言われ、生徒たちがこれからの社会で求められる力は大きく変わるとされています。

これからの社会では、機械では置き換えられない力を身につけていくことが重要です。機械に置き換えられない力とは、課題設定能力（自ら問い合わせ立てる力）、合意形成する力（多様な価値観、考え方から1つの合意を導き出していく力）の2つであり、これらを身につけていくことが重要だと考えています。

これまで
速く、正確に
与えられた問い合わせ
解く力

人工知能の進歩、ネットワークの高度化により、2030年には今ある仕事の50%がなくなると言われ、生徒たちがこれからの社会で求められる力は大きく変わる

これから
機械では
置き換えられない力

1.課題設定能力
自ら問い合わせ立てる力
2.合意形成する力
多様な価値観・考え方から
1つの合意を導き出していく力



社会で
求められる力を
育成するために

課題設定能力と合意形成する 力を育成するプログラム

この2つの力を身につけるために、スタディツアーとワークショップがセットとなったプログラムを提供しています。スタディツアーで獲得した原体験や一次情報をもとに、ワークショップで課題設定、合意形成を行います。

スタディツアー | 3時間

社会問題の現場や関係者を訪れ、原体験や一次情報を獲得
社会問題の現場へ行くことの価値

誰かによって編集・解釈された情報ではない生の情報のなかで、自ら収集・再構築・解釈することが求められ、実体験から問い合わせ立てる実践的な力を育むことができる

今後社会に出る生徒たちが、社会の抱える問題を比較的早い段階から知り、考える機会を得ることにより、社会の担い手としての姿勢・態度を養うことができる

問題を解決するためには学ぶ必要があると感じ、学習の動機づけになる

家でも学校でもない社会を直接的に知ることができる



※各ツアーカーの受入可能人数は20~30名です。

※新型コロナウイルス感染症等の影響により受入可能人数をさらに縮小する場合もございます。予めご了承ください。



弘前ねぶたから
地域における祭りの価値を
考えるツアー

ツアーオーバー

東北の夏を代表する祭りであり、国の重要無形民俗文化財に指定されている青森ねぶたと弘前ねぶた。二つの祭りは大きな山車が街を練り歩くという共通点はあるものの、その内容は対照的で、弘前ねぶたは、例年80団体程が参加し、町内会などの地域コミュニティによる運行が守り続けられています。一方、青森ねぶたは、例年30程の企業が中心となって運行される、青森市を代表する観光コンテンツと変化、市民に加えて観光客も多く参加する祭りになりました。

このツアーでは、弘前ねぶた関係者から、青森ねぶたと比較しながら祭りの違いや共通点について学び、それぞれの地域や関係者にとって祭りが地域で担う役割や祭りの持つ価値について考えます。

また、地域の祭りをテーマに「経済的価値」「文化的価値」「祭りの持続可能性」など様々な観点から物事を捉えることを学びます。



»弘前ねぶたと青森ねぶたを比較しながら祭りが地域で担う役割や祭りの価値について考える。

»祭りをテーマに、「経済的価値」「文化的価値」「祭りの持続可能性」など多角的な観点から物事を捉えることを学ぶ。



残したい祭りのあり方を考えよう！

スケジュール例

9:00~12:00 *津軽藩ねぶた村（弘前市）でスタディツアー

ねぶた見学、太鼓・お囃子体験

扇型ねぶたの形状やスケール、運行隊形やお囃子、地域との関わり等について、青森ねぶたと比べながら学びます。



弘前ねぶた映像観賞・絵師の創作見学

映像を通して祭りの様子や、絵師の技術・スピードを体験します。



講演・質疑応答

扇型ねぶたである歴史的背景や、代々で参加している地元の方や市民団体の姿などを学びます。

12:00~13:00 *昼食（津軽藩ねぶた村でも対応可能）

13:00~16:00 *ワークショップ

・少人数グループで議論をし、発表を行います。

ワークショップの様子



りんご産業全体の可能性や未来を考えるツアー

Tour ツアー概要

青森県のりんご栽培は明治時代から始まり、近年は国内シェア6割を占めています。一般的にりんごは、平地に比べ寒暖差が激しい丘陵地帯の方が美味しいといわれています。そのような中、平地が多い板柳町では、平地における美味しいりんごの栽培方法や、ジュースなどの加工技術の研究に取り組んできました。他にも、りんごを入れるための木箱をインテリア雑貨に転用する企業が町内に生まれるなど、りんご関連産業が育っています。

りんごによる地場産業振興を目的として作られたふるさとセンターでジュースやスイーツへ加工する行程の見学や、農園での農作業体験をします。



現代の伝統工芸ビジネスの可能性を考えるツアー

津軽塗

Tour ツアー概要

青森県唯一の経済産業省指定伝統的工芸品である津軽塗は、値段が高いながらも県内外に限らず国外にもファンを持つ美しい漆器です。

一方で、時代の変化とともに津軽塗の市場や職人は縮小傾向にあります。売上の維持拡大や後継者育成など様々な問題が出てきていますが、こうした状況を乗り越えて、津軽塗の産業をこれからより一層発展させていくにはどうしたらいいでしょうか。

このツアーでは小林漆器の経営者であり、職人でもある小林さんにお話をききます。さらに、津軽塗の製作工程やその商品を見学し、製作体験を交えながら、津軽塗ビジネスのさらなる可能性を描き、課題を考えていきます。



見学や説明



Tour ツアー行程

津軽塗生産者との交流

小林漆器の経営者であり、自らも職人である方に、津軽塗の歴史や魅力、津軽塗を取り巻く状況や自身の取り組み等についてお話を伺います。

津軽藩ねぶた村の見学

・津軽藩ねぶた村で津軽塗の様々な商品や、職人による製作の様子等を見学します。
・箸の製作工程における研ぎ出しの体験を行います。



14,000世帯の生活を支えるバイオマス発電所で、再生可能エネルギーのありかたを考えるツアー

Tour ツアー概要

私たちの生活に欠かせない電気は、原子力、火力、水力、太陽光、風力など様々な発電方法で供給されています。その一つである「バイオマス発電」は、間伐材やごみなどを用いた、資源の有効活用と環境負荷の軽減に貢献する発電方法です。理想的な発電方法に見えますが、発電効率が高くないこと、原料の安定確保が難しいこと、発電過程で多くの排熱が生じることなど様々な課題を抱えています。

このツアーでは、リンゴの枝や間伐材を用いたバイオマス発電に加え、排熱を利用したトマト栽培にも取り組む「津軽バイオマスエナジー」を訪れ、バイオマス発電のメリットや抱える課題、多様な発電の方法について学び、これからの発電のあり方について考えます。



Tour ツアー行程

津軽バイオマスエナジーの見学、トマト試食

・バイオマス発電の一連の流れを実際に見学します。
・排熱を利用した温室で栽培されたトマトを試食します。(時期により提供できない場合有)

経営者によるお話、交流

・日本や海外の発電種別割合や各発電方法のメリットデメリットなどの基礎知識とともに、なぜバイオマス発電の拡大が難しいのかを学びます。
・どのような形で地域に貢献しているか、お話を伺います。



現代の伝統工芸ビジネスの可能性を考えるツアー

こぎん刺し

Tour ツアー概要

江戸時代、津軽の農民たちは麻の着物しか着ることが許されませんでした。そこで、厳しく長い冬を少しでも快適に過ごすため、木綿の糸で刺し子を施す「津軽こぎん刺し」が生まれました。

弘前市の「こぎん研究所」は経営難の時期もありましたが、様々な有力企業やファッショングランドとのコラボレーションなど多様な商品開発によって活躍の場を徐々に広げています。また、作業は80人ほどがシフト制で行っており、地域の働き先の一つとなっています。

このツアーでは、こぎん刺し製作の場を訪れ、作業工程や出来上がった作品、こぎん研究所代表の方の思いに触れ、こぎん刺しビジネスのさらなる可能性を考えます。



Tour ツアー行程

こぎん研究所、機械や糸、多様な商品を見学、製作体験

・昔から使われる機械や調達が難しくなってきた糸、商品製作の様子を見学します。
・名刺入れ、バッグなど多様な商品を見学し、製作体験をします。

こぎん研究所の方からのお話、交流

こぎん研究所の再建に取り組んできた代表の方から、現状の問題点や取組などのお話を伺います。



弘南鉄道大鰐線の廃止問題から地域の公共交通を考えるツアー

Tour ツアー概要

人口が集中し鉄道網が発達している都市部に対し、人口が減少し車中心の生活となっている地方においては、鉄道の廃線が身近な問題となっています。

弘前市と大鰐町を繋ぐ弘南鉄道大鰐線においても利用者減少が著しく、2013年に廃線の意向が示されました。しかし、沿線住民からの廃線反対の強い声により廃線撤回となり、それ以降、利用者増加を目指し交通事業者や地域住民、行政からなる協議会を立ち上げるなど、様々な取組を行っています。

このツアーでは弘南鉄道の乗車体験や、弘南鉄道株式会社、弘南鉄道アソビプロジェクトのメンバーから話を聞き、地域の公共交通のこれからを考えます。



Tour ツアー行程

弘南鉄道大鰐線に乗車し、駅や町の様子を見学

レトロな駅舎と車両を見学し、列車に乗車します。乗降する利用者の様子、車窓に広がる山々や、各駅の様子を観察し、地域の状況・問題を考えます。

弘南鉄道株式会社、弘南鉄道アソビプロジェクト

弘南鉄道を「遊び」で盛り上げようと活動する有志団体アソビプロジェクトのメンバーから話を聞き、地域の公共交通を守るためにどうしたら良いかを考えます。

青森市内の自主研修スポット

青森市には、三内丸山遺跡や八甲田連峰に代表される歴史、自然、芸術、文化など、様々な分野の体験学習の場があります。見どころも豊富で、生徒の自主性、積極性を引き出すコースづくりが可能です。

■スタンプラー 参加対象施設
※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

■歴史・文化を学ぶ

三内丸山遺跡センター P12参照
ボランティアガイドによる遺跡の見学や縄文時代のモノづくり体験ができる。
☎017-766-8282
■<https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

青森県立美術館 P24参照
棟方志功や奈良美智はじめ、青森ゆかりの作家の作品を常設展示。
☎017-783-3000
■<http://www.aomori-museum.jp>

棟方志功記念館 P24参照
棟方志功の板画をはじめ絵画、油絵、書などを収蔵し、順次展示。
☎017-777-4567
■<https://munakatashiko-museum.jp/>

青森県近代文学館 P26参照
常設展示では、青森県を代表する13人の作家を中心に、その作品と生涯を紹介。
☎017-739-2575
■<http://wwwplib.pref.aomori.lg.jp/viewer/info.html?id=30>

青森県立郷土館 ※令和2年10月20日(火)から当面、臨時休館
青森県の考古・自然・歴史・民俗などがわかる総合博物館。
☎017-777-1585
■<https://www.kyodokan.com>

青森市森林博物館
県産ヒバ材を使用した、ルネサンス様式の木造建築物。森林に関する様々な資料を展示。
☎017-766-7800
■<http://www.aomori-shi.shinrinhakubutsukan.jp>

あおもり北のまほろば歴史館 P48参照
青森市を中心とした郷土の歴史や民俗を総合的に紹介。
☎017-763-5519
■<http://kitanomahoroba.jp/>

青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸
青森市と函館市を結んでいた青函連絡船八甲田丸をそのまま利用した、鉄道連絡船ミュージアム。
☎017-735-8150
■<https://aomori-hakkoudamaru.com>

ねぶたの家 ワ・ラッセ P8参照
大型ねぶたや中型ねぶたの展示、ねぶた祭りの歴史や製作工程を余すことなく一年中体感できる。
☎017-752-1311
■<http://www.nebuta.jp/warasse/>

昭和大仏(青龍寺) P48参照
昭和59年に造立された青銅座像の大日如来像。高さ21.35mと、奈良や鎌倉の大仏をしのぐ大きさ。
☎017-726-2312
■<http://www.showa-daibutu.com>

青森市八甲田山雪中行軍遭難資料館 P47参照
山岳史上最大の悲劇となった青森歩兵第五連隊の遭難の史実に関する資料を展示。
☎017-728-7063
■<http://www.moyahills.jp/koubataboэн/index.html>

「観光手形」で青森県の県産品を当てよう!
青森市内の観光施設等14か所の情報を紹介する「観光手形」では、県産品が当たるスタンプラリーを実施中。青森市内観光案内所・市内ホテル等で配布しています。
■お問い合わせ/青森市 017-744-7447
※写真は2020年度版です。

変更予定



■モデルコース

1日コース



半日コース



自主研修のバックアップ体制

あおもりシャトルdeルートバス「ねぶたん号」

青森市では、新幹線駅を起終点とし、青森駅を中心とした中心市街地、主要観光施設、周辺市街地を巡る「あおもりシャトルdeルートバス(ねぶたん号)」の運行を実施しております。運賃などについては、お問い合わせください。

■お問い合わせ/
バス運行について 青森観光バス(株)
☎017-739-9384

街歩きコース「あおもり街でく」

青森駅からちょっと歩くと、海や市場、商店街など楽しい魅力がいっぱいです。街なかの自主研修をお手伝いします。

お問い合わせ/
青森市観光交流情報センター内
「あおもり街でく」
☎017-723-4670

自主研修の拠点、本部に「アスピア」

三角形の建物が特徴の「アスピア」は、青森市のランドマーク。自主研修を行う際の本部としても利用できます。

■お問い合わせ/
青森県観光物産館「アスピア」
☎017-735-5311
■<http://aspm.aomori-kanko.or.jp/>

お問い合わせ先

●青森市役所交流推進課
☎017-734-5175
<http://www.city.aomori.aomori.jp>

●青森市観光交流情報センター

☎017-723-4670

<http://www.atca.info>
(公社)青森観光コンベンション協会

弘前市内の自主研修スポット

城下町・弘前は17世紀初めから栄え、市内の随所に名所旧跡を数多く残します。古き良き町並みにモダンな風情も共存しています。生徒たちの豊かな感性で、津軽の歴史、伝統、文化を感じ取ることができます。

■城下町を歩く

弘前公園(弘前城跡)

桜の名所として名高い弘前公園。シンボルの天守をはじめ3つの櫓に5つの水濠が現存している。弘前城本丸石垣修理に伴い、天守の位置が約70m本丸内部へ移動しました。



☎0172-33-8739(市公園緑地課)

弘前市仲町伝統的建造物群保存地区

旧笛森家、旧岩田家、旧伊東家、旧梅田家などの武家屋敷やサワラの生垣、点在する門や板塀などが江戸時代の武家屋敷街の景観を今に伝えている。



☎0172-82-1642(市文化財課)

石場家住宅(商家屋敷)

石場家は江戸時代にわら工芸や荒物を扱っていた商家である。建築年代は江戸時代中期と推定され、豪壮な構えとなっている。



☎0172-32-1488

長勝寺

津軽家の菩提寺で、三門をはじめ、境内に重要文化財建造物が9棟ある。



☎0172-32-0813 ※要事前予約

ガイドのご依頼は☎0172-35-3131((公社)弘前観光コンベンション協会)

最勝院五重塔

津軽統一の過程で戦死した人々の供養塔といわれている。東北一の美塔と讃えられており、青森県第一号の国指定重要文化財建造物である。



☎0172-34-1123

■<http://www.15.plala.or.jp/SAISYOU>

■伝統文化を学ぶ

津軽藩ねぶた村

P50参照

高さ10mの大型ねぶたをはじめ、大小様々なねぶたを多数展示。お囃子や津軽三味線の実演もある。

☎0172-39-1511

■<http://www.neputamura.com>



津軽三味線演奏体験 津軽こぎん刺し 金魚ねぶた絵付け

弘前市禅林街三十三ヶ寺「坐禅体験」

P50参照

2代藩主津軽信枚が津軽一円から曹洞宗の寺院を集めて成立了もので、33もの同一の宗派の寺が集結しているのは、全国的に珍しい。坐禅体験では、静寂の中ただひたすらに坐ることで心を清め、集中力を養うことができる。(5名以上から)



☎0172-35-3131((公社)弘前観光コンベンション協会)

■<https://www.hiroasaki-kanko.or.jp>

■昭和の近代建築(前川國男建築)を巡る

※内観希望の場合は事前に各施設へご連絡ください。

前川國男はフランス、パリのル・コルビュジエの「日本の3大弟子」のひとり。日本の近代建築に大きな功績を残しています。

木村産業研究所

P50参照

前川國男の処女作。鉄筋コンクリート造2階建、白亜の外装で、陸屋根、吹抜け、横長の窓などモダニズム建築の特徴をよく伝える。我が国におけるコルビュジエ風建築の最初期の作品。



☎0172-32-0595(弘前こぎん研究所)

弘前市庁舎(前川本館)

昭和33(1958)年建築。前川は、人体の骨格に相当する柱や梁は、力強さを表現できるコンクリートがよりよいとし、鉄筋コンクリートの打ち放しの柱、外壁にはレンガブロックを積み、2階、4階は屋根が大きく張り出した建物となっている。また、城下町の風情を壊さないように、建物の高さは抑えられ、街との調和と気遣いが感じられる。



☎0172-35-1111(代表)

弘前市民会館

昭和39(1964)年建築。コンクリート打ち放しが周りの緑と溶け合い力強くも美しい。コンクリートの壁は外、内壁ともに独特の木目模様がくっきり現れている。



☎0172-32-3374

■弘前城本丸石垣修理

弘前城本丸では、石垣を保護するために修理工事を進めています。これにより、石垣の上にあった天守(お城)が全国に類をみない曳屋と呼ばれる手法で大移動しました。(2015年8~10月)移動後の場所は背景に岩木山が見える位置となり、新たな観光名所となっています。

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp>



弘前市立博物館

昭和51(1976)年建築。外壁は深みのある赤茶色の打ち込みタイルで、周辺の環境によく溶け込んでいる。打ち込みタイルの外観は、隣接の市民会館の打ち放しコンクリートの外壁と対照的。



☎0172-35-0700

弘前市緑の相談所

昭和55(1980)年建築。正面は勾配がある屋根だが、後ろから見ると四角い建物に見え、建物の前と後ろで、全く印象が違う外観をぜひ見比べてほしい。



☎0172-33-8739(市公園緑地課)

■洋風建築を巡る

旧第五十九銀行本店本館(青森銀行記念館)

明治37(1904)年建築。洋風建築の第一人者堀江佐吉の最高傑作と言われ、外観はルネッサンス風の意匠を基本としている。



☎0172-36-6350

藤田記念庭園洋館(旧藤田家別邸洋館)

大正10(1921)年建築。大正ロマンを感じさせる洋館。広大な敷地に借景式庭園、池泉廻遊式庭園が広がる。



☎0172-37-5525

旧弘前市立図書館

明治39(1906)年齋藤主・堀江佐吉の手によって建てられ市に寄附された。木造3階建でルネッサンス様式を基調とした洋風建築。



☎0172-82-1642(市文化財課)

旧東奥義塾外人教師館

青森県初の私学校東奥義塾の外国人宣教師の住宅で、書斎や寝室から当時の暮らししづらが伝わってくる。



☎0172-37-5501(弘前市立観光館)

旧弘前偕行社

明治時代に弘前市に設置が決定された第八師団将校らの親睦・厚生施設として、1907(明治40)年に完成。この地は、藩政時代の鷹狩の1つで、1815(文化12)年には藩主の庭園や別荘地となった景勝地でもある。ルネサンス風を基調とした翼棟付き平屋建ての洗練された意匠を持っている。現存する偕行社として全国的にも貴重。令和2年4月、7年間の大規模な保存・復元修理を経てリニューアルオープン。



☎0172-33-0588(弘前厚生学院記念館)

■<http://www.h-kaikosha.jp>

日本聖公会弘前昇天教会

大正10(1921)年ジェームズ・M・ガーディナーの設計とされ、林縁の施工で建てられた。赤煉瓦造りで、ゴシック様式でまとめられている。



☎0172-34-6247

カトリック弘前教会

明治43(1910)年オージェ神父の設計、横山常吉の施工により建てられた、尖頭のあるロマネスク様式の建物。ゴシック様式の祭壇やステンドグラスが美しい。



☎0172-33-0175

日本基督教団弘前教会 教会堂

明治8(1875)年の教会創設以来3度目の建物で、明治39(1906)年に建てられた。構造はフランスゴシック風の双塔形式で、設計は桜庭駒五郎。



☎0172-32-3971

弘前市立百石町展示館(旧青森銀行津軽支店)

明治16(1883)年、宮本甚兵衛が新築した角三呂店舗の店舗で、大正6(1917)年に銀行店舗に改修された。防火を第一に考えた土蔵造り。



☎0172-31-7600



■モデルコース

半日コース

Aコース

- 弘前市立観光館 5分
- 追手門から入園
- 弘前城跡(弘前公園)
- お殿様お姫様着付け体験 10分
- 石場家住宅 10分
- 仲町伝統的建造物群保存地区 40分
- 津軽藩ねぶた村 7分

Bコース

- 弘前市立観光館 0分
- ミニチュア建築物・旧弘前市立図書館・旧東奥義塾外人教師館 所要時間20分
- 旧第五十九銀行本店本館(青森銀行記念館) 30分
- 旧第八師団長官舎 5分
- 追手門から入園
- 弘前城跡(弘前公園) 7分
- 藤田記念庭園 3分
- 仲町伝統的建造物群保存地区 40分
- 津軽藩ねぶた村 5分

Cコース

- 弘前市立観光館 20分
- 太宰治なまびの家 10分
- 旧弘前偕行社 25分
- 弘前れんが倉庫美術館 40分
- 追手門から入園
- 弘前城跡(弘前公園) 5分
- 津軽藩ねぶた村 5分

土手町循環100円バス 徒歩

弘前市内をバスでラクラク移動

土手町循環100円バス

乗車区間にかかわらず1回の利用が100円のバス。「土手町循環バス」の始発はバスター・ミナルから午前10時。以降、午後6時(12~3月は午後5時)まで10分間隔でバスがでます。100円バス1日乗車券大人500円、中学生300円、小学生200円で発売しております。

ためのぶ号(12月~3月まで冬季休)

JR弘前駅前、津軽藩ねぶた村、弘前市りんご公園などを結ぶ、市内観光に便利な路線です。運賃は乗車区間によって100円または200円。100円バス共通の1日乗車券は大人500円、中学生300円、小学生200円です。

■お問い合わせ/弘前バスター・ミナル

☎0172-36-5061

■<http://konanbus.com>

自主研修のバックアップ体制

弘前市内をバスでラクラク移動

土手町循環100円バス

乗車区間にかかわらず1回の利用が100円のバス。「土手町循環バス」の始発はバスター・ミナルから午前10時。以降、午後6時(12~3月は午後5時)まで10分間隔でバスがでます。100円バス1日乗車券大人50

注目のTOPICS&エリア

奥津軽エリアへ

北海道新幹線が開業し、ますます注目をあびる奥津軽エリア。
青森を代表する文化施設が多彩なプランを準備して
みなさまのお越しをお待ちしております。

奥津軽の半日体験プラン

A プラン		津軽鉄道 五所川原駅						津軽鉄道 金木駅～金木街中（太宰治記念館等を見学）						立佞武多の館（見学・体験）						津軽金山焼（見学・体験）						宿泊施設					
12:25発	12:52着	13:45発	14:15着	15:20発	15:50着	17:05発	12:52着	13:45発	14:15着	15:20発	15:50着	17:05発	12:52着	13:45発	14:15着	15:20発	15:50着	17:05発	12:52着	13:45発	14:15着	15:20発	15:50着	17:05発	12:52着	13:45発	14:15着	15:20発	15:50着	17:05発	
B プラン		立佞武多の館（見学・体験）						津軽金山焼（見学・体験）						津軽鉄道 五所川原駅						金木駅～金木街中（太宰治記念館等を見学）						宿泊施設					
12:30	13:30発	14:00着	15:17発	15:47発	16:08着	17:00発	12:30	13:30発	14:00着	15:17発	15:47発	16:08着	12:30	13:30発	14:00着	15:17発	15:47発	16:08着	12:30	13:30発	14:00着	15:17発	15:47発	16:08着	12:30	13:30発	14:00着	15:17発	15:47発	16:08着	



奥津軽で体験可能な施設

(各施設の料金は変更となる場合があります。要問合せ。)

金山焼 陶芸教室 ちゅうばち 小 中 高

〒037-0011 五所川原市金山字千代鶴107-4

☎080-8488-2485

ホームページ <https://yakimonoya3.localinfo.jp>

新型コロナウイルス感染症対策についてはP54 参照

立佞武多の館 小 中 高

〒037-0063 五所川原市大町506-10

☎0173-38-3232 (代表) FAX:0173-38-4646

ホームページ <http://www.tachimeputa.jp/>

営業時間 4~9月 / 9:00~19:00、10~3月 / 9:00~17:00

立佞武多の館では、立佞武多祭りに出陣する大型立佞武多を常時格納・観覧できるほか、新作立佞武多の製作体験、津軽の民工芸の製作体験、五所川原ねぶたのお雛子の練習など様々なイベントが行われます。

マスク着用必須 消毒実施 発熱の場合 入場制限あり

遊楽工房「かわらひわ」で青森の民芸品をつくってみよう! (有料)

◎金魚ねぶた(箱付) / 60~90分

◎団扇 / 45~60分 ◎ねぶたライト / 45~60分



金山焼 手びねり陶芸体験

薪窯で焼き上げる金山焼の手びねり陶芸体験。やきものの原点とも言える薪窯で焼き上げる、焼締めの技法を使った金山焼を作ります。

◎受付期間／通年

◎所要時間／60分

◎体験可能時間／応相談(通常10:00~15:00)

◎体験人数／1回あたり1~80名

◎料金／一般1,550円 中学生まで1,200円

津軽鉄道

津軽鉄道 小 中 高

津軽鉄道株式会社

〒037-0063 五所川原市字大町39番地

☎0173-34-2148 FAX:0173-34-2149

ホームページ <http://tsutetsu.com/>

新型コロナウイルス感染症対策についてはP54 参照

津軽鉄道は津軽五所川原駅から津軽中里駅間、約20.7kmを走る日本最北の民間鉄道です。津軽鉄道では季節ごとに様々なイベント列車を運行しています。車窓から青森の四季折々の景色を楽しむことが出来ます。

◎ストーブ列車 / 期間12月1日~3月31日

◎芦野公園さくらまつり / 期間4月下旬~5月上旬

◎風鈴列車 / 期間7月1日~8月31日

◎鈴虫列車 / 期間9月1日~10月中旬



あおもり体験セレクトコース

青森県の多彩な教育旅行プログラムを組み合わせて、2つのコースをご提案します。

昼食 宿泊

course
01

2泊3日

南部・青森エリア(八戸市・十和田市・青森市)

十和田湖の自然と南部地方の芸術、歴史を学ぶ

1日目
各駅 JR 八戸市 JR八戸駅 八戸市内 昼食/蕪島・種差海岸散策 120分

十和田市 休屋・十和田湖遊覧船 十和田湖休屋 80分

2日目
宿泊地 十和田市 奥入瀬渓流/苔からはじまる奥入瀬体験 (レクチャー、苔観察、散策、こけ玉作り) 80分

青森市 青森市内/昼食 青森市 三内丸山遺跡 青森市 青森県立美術館 浅虫温泉 40分

3日目
宿泊地 青森市 浅虫水族館 青森市 ねぶたの家ワ・ラッセ JR新青森駅 40分

course
02

2泊3日

津軽エリア(青森市・五所川原市・弘前市)

津軽地方で育ってきた文化を学ぶ

1日目
各駅 JR 青森市 JR新青森駅 青森市 三内丸山遺跡 昼食/市内 40分

青森市 ベイエリア自主研修 (アスパム、ねぶたの家ワ・ラッセ、Aファクトリー、八甲田丸) 40分

2日目
宿泊地 五所川原市 太宰治記念館、津軽三味線会館 昼食/市内 90分

五所川原市 五所川原立佞武多の館 弘前市 弘前市りんご公園 弘前市近郊 60分

3日目
宿泊地 弘前市 弘前れんが倉庫美術館 弘前市 昼食/津軽藩ねぶた村 JR新青森駅 60分

エリア別体験施設一覧



青森・浅虫温泉周辺

三内丸山遺跡センター

MAP C-2

縄文の歴史を学ぶ [P12参照]

青森県立美術館

MAP C-2

青森で芸術を学ぶ [P24参照]

青森県近代文学館

MAP C-2

青森の文学:太宰治・寺山修司を学ぶ [P26参照]

棟方志功記念館

MAP C-2

青森で芸術を学ぶ [P24参照]

あおもり街でく

MAP C-2

■住所/〒030-0801 青森市新町1-1-25 青森市観光交流情報センター内
■TEL/017-723-4670 ■FAX/017-777-8639
■URL/https://www.atca.info/machiteku.html

あおもり街でく (ガイドと市内を散策) (90分~120分)

港町として発展してきた青森の景観やウォーターフロントの4大施設(アスパム、ワ・ラッセ、A-FACTORY、八甲田丸)をご案内(Aコース)したり、青森市の発祥や文化人ゆかりの場所をご案内(Bコース)します。また、市民の台所である市場や小路を歩き、地元らしい雰囲気を体験できます(Cコース)。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/時間に合わせて調整可能
●体験人数/1~100人(多い場合は要相談) ●料金/無料

青森県観光物産館アスパム

MAP C-2

■住所/〒030-0803 青森市安方1丁目1-40
■TEL/017-735-5311(アスパム)
0172-39-1511(津軽藩ねぶた村)
■URL/http://aspm.aomori-kanko.or.jp/

津軽の伝統芸能:津軽三味線を学ぶ [P9参照]

津軽こぎん刺し製作体験 (約30分~120分) A

しおり・コースター(2枚組)・ランチョンマット・巾着・ティッシュケースの5種類のうちいずれかの製作を体験します。

津軽焼絵付け (60分) B

あらかじめ素焼している湯飲み茶碗に、吾須(ごす)という絵の具で自由に絵や文字を書きます。
※1ヶ月後に焼いてから送付します。

津軽焼き粘土細工 (120分) C

粘土から湯飲み茶碗を作ります。乾燥・素焼き・釉薬・本焼さしたものを作ります。

弘前こけし絵付け (90分) D

白木のこけしに色付けします。

金魚ねぶた絵付け (90分) E

あらかじめ紙を張ってある金魚ねぶたに色付けします。

津軽扇製作 (90分~) F

絵付けのみのコースと、製作からのコースがあります。
※骨組素材により料金が異なります。

りんご土鉢絵付け (60分) G

あらかじめ素焼きしている土鉢に絵の具で絵付けします。

祈願木地だるま絵付け (90分) H

あらかじめ削ってある白木へ絵付けします。

吊りこま絵付け (90分) I

あらかじめ削ってある白木の吊りこまに絵の具で絵付けします。

壁掛け扇ねぶた (弘前ねぶた) (90分) J

下絵を使って墨書きし、扇の形をした骨組みにはりつけて彩色する、壁掛け扇ねぶたが完成します。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金 (税込)
A 通年	9:30~17:00	1人~20人	650円~1,800円
B 通年	9:30~17:30	30人~要相談	1,100円
C 通年	9:30~17:30	30人~要相談	1,250円
D 通年	9:30~17:30	30人~要相談	1,100円
E 通年	9:30~17:30	30人~要相談	1,150円
F 通年	9:30~17:30	30人~要相談	1,000円 製作1,450円~
G 通年	9:30~17:30	30人~要相談	1,150円
H 通年	9:30~17:30	30人~要相談	1,150円
I 通年	9:30~17:30	30人~要相談	950円
J 通年	9:30~17:30	30人~50人	1,650円

※津軽藩ねぶた村からの出張体験となります。

※アスパム会場使用料として体験者1名につき100円(税込)がかかります。

※Aはアスパムまでご予約下さい。B~Jはアスパムに会場を予約後、

津軽藩ねぶた村へ体験メニューをご予約下さい。

※B~Jは、出張料金として4,800円(税込)がかかります。

青森市八甲田山雪中行軍遭難資料館

MAP C-3

■住所/〒030-0943 青森市幸畠字阿部野163-4

■TEL/017-728-7063

■URL/http://www.moyahills.jp/koubatabo/en/index.html

新型コロナウイルス対策として
マスク着用必須、手洗い・手指消毒の励行、発熱や咳等の症状がある場合は控えてください。

歩兵第5連隊遭難事件の史実学習 (50~60分)

展示室内の映像・説明書を各自で観覧した後に、ガイドと共に隣接する「陸軍墓地」、史跡等の解説を聞きながら散策します。

●受入期間/4~11月

●体験可能時間/9:00~16:00

●体験人数/ガイド1名につき最大30名を2グループ計60名

●料金/無料

ねぶたの家ワ・ラッセ

MAP C-2

■住所/〒030-0803 青森市安方1丁目1-1

■TEL/017-752-1311

■URL/http://www.nebuta.jp/warasse/

青森の祭り:ねぶた・ねぶたを学ぶ [P5~8参照]

青森県動物愛護センター

MAP C-3

■住所/〒039-3505 青森市大字宮田字玉水119-1

■TEL/017-726-6100

■URL/http://www.aomori-animal.jp/

動物ふれあい活動 (60~90分)

30分程度のスライドを用いた講義を聞き、その後動物愛護センターで飼育されている動物とのふれあいを行い、動物愛護や適正飼養等について学びます。

●受入期間/通年(休館日除く)まずはお電話ください。

●体験可能時間/10:00~15:00

●体験人数/2人~最大36人(現在15人) ●料金/無料

※活動の内容や動物に対するアレルギーの対応について、事前に申込み及び打ち合わせが必要です。

マスク着用必須、発熱の場合は入場制限あり

北洋硝子株式会社

MAP C-2

■住所/〒038-0004 青森市富田4丁目29番13号

■TEL/017-782-5183 ■URL/https://tsugaruvidro.jp/

工場見学 (15~20分)

常時5種類以上の技法で行われているガラス器の生産を、近い場所から見学可能。

●受入期間/通年(休業日除く)

●見学可能時間/9:00~16:00(12:00~13:00除く)

●料金/無料 ●見学人数/1~10名

※事前に電話でご確認の上、ご予約下さい。※現在、体験は実施しておりません。

新型コロナウイルス感染拡大防止策に協力お願いします。

青森乗馬俱楽部

MAP C-3

■住所/〒030-0134 青森市合子沢字松森245-1

■TEL/017-728-1779

■URL/http://www18.ocn.ne.jp/~aomorirc/arctopmenu.html

馬と触れ合うことによるホースセラピーは、脳を刺激して心理教育的、社会的、身体的に効果があることは世界的に認知されています。引き馬体験だけではなく、青森の四季折々の自然を感じながら馬たちと触れ合うことができます。

新型コロナウイルス等感染症対策として
マスク着用必須、手指消毒実施、発熱の場合は入場制限あり

ふれあい乗馬体験 (40分~)

3~6人が1グループになり、馬についての簡単なレクチャーを受け、馬の手入れ、エサやりなどを学んだ後、引き馬乗馬体験をします。乗馬体験後、スケッチなどもできます。馬の手入れ体験以外は、モヤヒルズなどの観光施設・農作業体験場所に出張も可能。

●受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00~17:00

●体験人数/6~50人 ●料金/800円

※雨天時は、室内馬場で実施しますが、内容等変更になる場合があります。

※冬期間の場合は、防寒対策が必要です。

青森市ふれあい農園

MAP B-2

■住所/〒030-1261 青森市四戸橋字磯部243-342

■TEL/017-761-3082

新型コロナウイルス等感染症対策として
マスク着用必須、検温・手指消毒実施、発熱・体調不良の場合は入場制限あり

そば打ち体験 (120分) A

地元後藤産のそば粉を使ったそば打ちを体験後、試食します(つゆ・薬味付き)。

うどん打ち体験 (120分) B

県産の小麦(ねばりこし)を使用したうどん打ちを体験後、試食します(つゆ・薬味付き)。

パン作り体験 (3時間) C

バターロール(1人5個)を作ります。菓子パン等も作ることができます(応相談、料金別途)。

カシスジャム作り体験 (60分) D

ふれあい農園で栽培しているカシスを使ってジャムを作ります。

収穫体験 (約30分) E

ふれあい農園で栽培しているじゃがいもやカシスを収穫します。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
A 通年	9:00~17:00	4~20人	1

エリア別体験施設一覧



アップルヒル「道の駅なみおか」 MAP C-2

■住所/〒038-1331 青森市浪岡大字女鹿沢字野尻2-3
■TEL/0172-62-1170 ■URL/http://www.applehill.co.jp

りんご狩り体験 (約20分)

りんごに関する説明を聞きながらのりんご狩り体験。希望に応じて、春開花時の人工受粉や結実後の実すぐり体験なども受け入れします。

- 受入期間/9月中旬～11月上旬
- 体験可能時間/9:00～15:00(1時間毎の案内(12時除く)となります)
- 体験人数/最大100名程度
- 料金/小人400円(3コ)、大人550円(4コ)

藍染め体験 (120分) オリジナルの藍染めのものを作ります。
 ●受入期間/通年
 ●体験可能時間/10:00～15:00(冬期は10:00～14:00)
 ●体験人数/5～25人 ●料金/ハンカチ1枚900円、バンダナ1枚1,500円、レーヨンストール1枚2,000円
 ●問い合わせ/090-5181-4681 ※要予約

常田健 土蔵のアトリエ美術館 MAP C-2

■住所/〒038-1325 青森市浪岡大字北中野字下嶋田48
■TEL/0172-62-2442
■URL/http://www.ken-tsunedo.com/

絵画鑑賞とアトリエ見学 (約30分)

中央画壇に背を向け、自らりんご園を営みながら懸命に生きる人々の姿を一途に描き続けてきた常田健の作品鑑賞と、アトリエとして使われ当時のまま保存してある土蔵の見学をします。

- 受入期間/通年(1月～3月は冬期休館あり。要問合せ)
- 体験可能時間/10:00～17:00(3月～11月)
11:00～17:00(12月～1月)
- 体験人数/最大30人
- 料金/高校生500円、引率者700円。中学生以下250円。
※10人以上で半額。

青森市 中世の館 MAP C-2

■住所/〒038-1311 青森市浪岡大字浪岡字岡田43
■TEL/0172-62-1020

北日本中世史の舞台「浪岡城」と昔のくらしを知る (60分)

約430年前落城後、畠や水田として使われてきた浪岡城跡から発掘された貴重な遺産(武具、食膳具、宗教具、化粧具など)を観覧します。江戸時代末期の建築「旧坪田家住宅」および民具、農具を通して現代までの農家の生活を知ることができます。

- 受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00～17:00
- 体験人数/最大100人
- 料金/大人・大学生(18才以上)210円、高校生110円
※20名以上、大人110円、高校生60円 ※月曜日、毎月第3日曜日休館(月曜日が祝日の場合は翌日)※ガイドは事前予約が必要です。

現在、新型コロナウイルス感染症対策として入館時のマスク着用と手指消毒を実施中

八甲田ロープウェー MAP C-3

十和田湖・奥入瀬渓流・八甲田の自然を観察する [P18参照]



浅虫温泉観光協会 MAP C-3

青森の祭り ねぶた・ねぶたを学ぶ [P8参照]

青森県営浅虫水族館 MAP C-3

■住所/〒039-3501 青森市大字浅虫字馬場山1-25
■TEL/017-752-3377 ■URL/http://asamushi-aqua.com

青森県の海についてレクチャー (10～15分)

青森県の海や水産業についてのレクチャーを行います。
 ●受入期間/平日(GW・お盆除く)
 ●体験可能時間/要相談 ●体験人数/要相談
 ●料金/入館料のみ ※要事前予約(2週間前まで)

津軽海峡フェリー MAP C-2

■住所/〒030-0861 青森市長島2-10-4ヤマウビル1階
■TEL/017-715-5656
■URL/https://www.tsugarukaikyo.co.jp

大公開! フェリーのひみつ! (15～40分)

船内の見学(操舵室(ブリッジ)等)をする事で、フェリーの重要性の理解を深めます。
 ●受入期間/通年 ●体験可能時間/要問い合わせ
 ●体験人数/要問い合わせ ●料金/無料

南部屋・海扇閣 MAP C-3

■客室数/89室 ■住所/〒039-3501 青森市浅虫字螢谷31
■TEL/017-752-4411 ■URL/https://www.kaisenkaku.com

浅虫ねぶた運行体験 (約90分) [P8参照]

雨天時などでねぶたを運行できない場合は、当館内でねぶた囃子演奏を聞いた後、ねぶたハネット体験を実施します。
 ●ねぶた運行/50,000円+200円×人数
 ●体験人数/50人～
 ●受入期間/5月～9月 ●体験可能時間/18:30～20:00

津軽三味線鑑賞 (30分)

津軽三味線演奏をご鑑賞頂きます。
 ●受入期間/通年 ●体験可能時間/17:00～20:00
 ●体験人数/最大250人 ●料金/44,000円

絶景の宿 浅虫さくら観光ホテル MAP C-3

■客室数/46室 ■住所/〒039-3501 青森市浅虫字坂本51-1
■TEL/017-752-3355
■URL/http://www.asamushi-kanko-hotel.com

浅虫温泉ねぶた運行体験 (約90分)

跳人・囃子方・曳き手に分かれて、ねぶた運行を体験します。
 ●受入期間/5月～9月 ●体験可能時間/18:30～20:00
 ●体験人数/50～350人 ●料金/50,000円+参加人数×200円
 ※天候により屋外での運行ができない場合、ホテル内でねぶた囃子の演奏を聞いた後、跳人体験を行います。

あおもり民話かたりべの会 MAP C-2

■住所/〒030-0966 青森市花園1-25-8
■TEL/090-2367-7899
■URL/http://www.aomori-bunkadensho.org

つがる弁による民話・わらべ唄・歴史などを聞く・体験する (45分)

江戸時代から伝わるつがる弁での民話、わらべ唄を聞くほか、実際に民話を語ったり唄に参加します。また、津軽地方の歴史を語ります。出前講座として、宿泊先ホテルへ出張します。
 ●受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00～20:00
 ●体験人数/10～300人
 ●料金/30,000円(交通費別途、市内1,000円・市外2,000～3,000円)
 ※新型コロナウイルス感染症が収束するまで活動休止中です。

弘前・黒石周辺

津軽藩ねぷた村 MAP C-2

■住所/〒036-8332 弘前市亀甲町61
■TEL/0172-39-1511
■URL/http://www.neputamura.com

津軽の伝統芸能:津軽三味線を学ぶ [P10参照]

津軽焼粘土細工 (120分) A

粘土を好みの形の器に仕上げます。その後は職人が素焼・本焼きを行い、約2ヶ月後に送付します。

津軽焼絵付け (60分) B

素焼きした湯のみ茶碗に絵付けをします。その後は職人が本焼きを行い、約1ヶ月後に送付します。

祈願木地だるま (60分) C

白木のだるまに顔と「合格祈願」などの願い事を書き入れ、彩色します。

吊りごま絵付け (60～90分) D

白木の吊りごまで回し方を練習した後、色付けし好きな言葉を書き入れます。

津軽天然藍染 (90分) E

天明・寛政の頃からの建物と設備を使って藍染を体験します。

弘前こけし絵付け (60分) F

白木のこけしの顔を墨書きし、胴は染料で模様を描きます。

金魚ねぶた絵付け (90分) G

金魚ねぶたに墨書き、口書きし、最後に色付けして完成させます。

津軽兜 (絵付90分/制作3時間30分) H

下絵を用いて和紙に兜絵を描きます。制作の場合は、ヒバの骨に絵を貼りつけます。

壁かけ扇ねぶた (90分) I

下絵の描かれている扇形の和紙に墨書き、口書き、彩色して完成させます。

津軽塗研ぎ出し (75～90分) J

箸やスプーン、手鏡など漆を重ね塗りしてある素材を研ぎ出し、模様を描えます。その後は職人が仕上げ、2週間後に送付します。

津軽こぎん刺し (120分) K

麻布に木綿糸を刺して模様を縫いこみ、コースターを作製します。

下川原焼鳩笛 (60分) L

素焼きして白塗りを施した鳩笛を好きな色で彩色し、完成させます。

りんご土鈴絵付け (60分) M

素焼のりんご形の土鈴に色付けします。

	受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
--	------	--------	------	-----

A 通年 7:00～20:00 ~350人 1,250円

B 通年 7:00～20:00 ~350人 1,100円

C 通年 7:00～20:00 ~350人 1,150円

D 通年 7:00～20:00 ~350人 950円

E 通年(木曜休みの場合あり) 9:00～17:00 ~25人 1,200円

F 通年 7:00～20:00 ~350人 1,100円

G 通年 7:00～20:00 ~350人 1,150円

H 通年 7:00～20:00 ~350人 絵付1,000円制作1,850円

I 通年 7:00～20:00 ~350人 1,650円

J 通年 9:00～17:00 ~70人 1,800～3,500円

K 通年 9:00～17:00 10～40人 1,100円

L 通年 7:00～20:00 ~350人 1,350円

M 通年 7:00～20:00 ~350人 1,150円

※他の対応や、宿泊施設への出張も行うので、お問い合わせ下さい。

※新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止及び、お客様ならびに従業員の健康と安全を第一に考えまして、お客様に安心してご利用いただけるよう、下記の感染予防対策を行っております。

◎施設内入りへの手指消毒用アルコールを設置 ◎全スタッフの出勤時の検温 ◎接客スタッフのマスク着用 ◎説明スタッフのフェイスシールド着用 ◎施設内整備や備品に関し、アルコール消毒清掃を実施 ◎定期的な換気を実施 ◎お客様間の一定の距離を確保 ◎お食事処では飛沫対策として全テーブルに透明アクリル板間仕切りを設置

津軽天然藍染 川崎染工場 MAP C-2

■住所/〒036-8332 弘前市亀甲町63
■TEL/0172-35-6552
■URL/http://www.kawasaki-somekojo.com/

津軽天然藍染 (60分～)

天然藍染についての説明のあと、ハンカチを染めます。乾燥後すぐに持ち帰ることができます。
 ●受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00～16:00
 ●体験人数/最大25人 ●料金/1,100円
 ※時間・人数等、相談に応じます。予約制

弘前こぎん研究所 MAP C-2

■住所/〒036-8216 弘前市大字在府町61
■TEL/0172-32-0595 ■URL/http://tsugaru-kogin.jp

こぎん刺しの歴史と制作 (90分)

こぎん刺しの歴史についての説明を聞き、コースターを製作します。
 ●受入期間/通年(花見、ねぶたの時期を除く)
 ●体験可能時間/9:00～16:00 ●体験人数/5～10人
 ●料金/2,000円
 ※事前打合せが必要

(一財)弘前市みどりの協会 MAP C-2

■住所/〒036-8356 弘前市大字下白銀町1-1

エリア別体験施設一覧



弘前市りんご公園

MAP C-2

りんご産業を学ぶ [P28参照]



浄土宗誓願寺

MAP C-2

■住所/〒036-8364 弘前市新町247
■TEL/0172-34-5532

誓願寺の歴史の説明

誓願寺が建立された歴史的意義を理解し、弘前藩との深い関わりを認識し、歴史の奥深さと楽しさを味わってもらいます。
●受入期間/5月~10月 ●体験可能時間/10:00~14:00
●体験人数/5~最大15名
●料金/お志を賽銭箱に入れていただく

森の中の果樹園

MAP C-2

■住所/〒036-1202 弘前市大字十面沢字轡426
■TEL/0172-93-3089 ■URL/http://www.morikaju.jp

農作業体験 (所要時間は要相談)

広大な園内で、季節に応じた農作業体験をします。
●受入期間/5月~10月 ●体験可能時間/9:00~17:00
●体験人数/5~50人 ●料金/3時間1,500円
※その時季収穫の果物をプレゼントします(収穫がないときは後日送付)

泊まる

星と森のロマントピア

MAP C-2

■客室/コテージ数/17室・12棟
■住所/〒036-1505 弘前市大字水木在家字桜井113-2
■TEL/0172-84-2288 ■URL/https://www.romantopia.net

郷土料理調理体験 (90分)

郷土の鍋料理をロマントピア風にアレンジ(オリジナル)し、実際に調理します。鍋は、けの汁料理と津軽鍋料理のどちらかを選べます。
●受入期間/5月上旬~10月下旬
●体験可能時間/10:00~15:00
●体験人数/10~100人 ●料金/1,760円
※要予約(一週間前)

星空観測と星の不思議 (50分)

普段何気なく見ている星空を「星の動き」を中心に、星の観察~天体望遠鏡での星の観察や、星空早見の製作~北斗星の不思議を体験します。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/13:00~22:00
●体験人数/最大50名
●料金/A.星座早見盤 300円 B.星座ランタン 400円
※宿泊者以外の方は別途入館料が必要です。

りんご農業体験 (60分)

地区園地での農作業体験、又は弘前市りんご公園での施設見学と園地での農作業体験をします。りんご収穫後、一人当たり3個のりんごを発送します。
●受入期間/5~11月 ●体験可能時間/10:00~15:00
●体験人数/10~最大50名 ●料金/1,100円前後
※時価(ご相談ください)

「津軽笛(横笛)」製作と演奏体験 (50~70分)

津軽伝統の横笛「津軽笛」を塗りパイプでひとり一本製作し、作つた後は音出しにチャレンジします。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/10:00~19:00
●体験人数/8~50名 ●料金/1,250円

※参加時は検温、マスク着用、手指の消毒にご協力をお願いします。

※感染状況によっては、人数制限、又は利用の中止をする場合がございます。ご了承ください。

Country Bread 野風パン

MAP C-2

■住所/〒036-1343 弘前市百沢字東岩木山1205-2
■TEL/0172-83-2020 ■URL/https://www.野風パン.com

天然酵母パン焼き体験 石窯焼きピザ焼き体験 (120分)

天然酵母のパン生地を棒に巻きつけて炭火で焼き上げるパンづくり。石窯でのピザづくり。どちらもスープといっしょに試食します。
●受入期間/4月~10月
(月曜定休※月曜が祝祭日の場合は振替)
●体験可能時間/9:00~17:00 ●体験人数/5~50人
●料金/パン作り1,430円 ピザ作り1,980円

弘前里山ツーリズム

MAP C-2

■住所/〒036-1341 弘前市大字宮地字川添77-4
■TEL/0172-82-1055
■URL/http://www.hirosaki-satoyama.jp

ふれあって感動する~農作業体験と農家民泊~ [P30参照]

農作業体験アクティブ・ラーニング (60~360分)
学生が主体的に課題を見つけ解決策を考える農作業体験です。季節により、りんごの受粉、花摘、実摘、収穫体験、獵きみの収穫、野菜(じゃがいも、枝豆、カシス、ブルーベリー、いちご)、果実(ぶどう、さくらんぼ、柿、梨等)の収穫、アップルパイ作り、フラワーアレンジの体験を行います。
●受入期間/4~11月
●体験可能時間/9:00~16:00 ●体験人数/4~120名
●料金/1時間あたり1人1,000円
※昼食(レストラン)及び弁当の手配が可能(農作業体験付農業民泊。最大30名)

岩木山観光りんご園

MAP C-2

■住所/〒036-1343 弘前市大字百沢字寺沢120-3
■TEL/0172-83-2746
■URL/http://ringo-aomori.jp

各種果物の作業体験 (1~5時間)

りんごの花への人工授粉や文字入れ体験、ももの摘花・収穫など、果物の作業体験ができ、帰りは果物のお土産が付きます。
●受入期間/8月中旬~11月上旬
●体験可能時間/9:00~15:00 ●体験人数/5~100人
●料金/参加人数×1,500円
※要予約で手づくり弁当を準備(20名より)。

マスク必須。発熱の場合入場制限あり。

津軽ゆめりんごファーム

MAP C-2

■住所/〒036-8243 弘前市小沢字山崎44-4
■TEL/0172-87-6089
■URL/http://www.yumeringo.net

季節の果物狩り体験 (60分) A

「青森県特別栽培農産物」認定の化学肥料を一切使用しない畠での収穫が楽しめます。
●6月下旬~7月上旬/さくらんぼ狩り
●7月中旬~8月中旬/ブルーベリー狩り
●8月中旬~9月上旬/もも狩り
●9月中旬~11月上旬/りんご狩り
※その年の気候でずれることがあります。(お問合せ下さい)

りんご畠で季節の農作業体験 (3時間) B

季節ごとに行われるりんご畠での農作業体験

(一人あたり消費税別途)

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
A 6月下旬~11月上旬	10:00~16:00	1~40人	600円~
B 5月~11月	10:00~16:00	1~50人	2,000円

※料金についてはお問合せ下さい。

くろいし・ふるさと・りんご村

MAP C-2

■住所/〒036-0411 黒石市温湯字派15-4
■TEL/0172-54-8210
■URL/https://k-f-ringomura.jimdofree.com/

水清く、あずましの里で農業・農家民泊体験

りんごの栽培(摘花・摘果・収穫等)、野菜の栽培・収穫などの農作業体験を行います。石窯ピザづくり・藍染体験、ねぶた祭りへの参加、よされ踊りなど地域文化に触れる生活体験を行います。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/要相談
●体験人数/5~20人 ●料金/8,400円(1泊2食)

大鰐温泉スキー場

MAP D-2

■住所/〒038-0221 大鰐町大字虹貝字清川148-1
■TEL/0172-49-1023・090-2799-1776(担当:中島)
■URL/http://www.oowani-ss.com(大鰐スキースクール)

新型コロナウィルス対策ガイドラインに沿って行います。
詳しくは大鰐スキースクールまでお問合せ下さい。

スキー体験とスノートレッキング (1~5時間)

八甲田山、岩木山、世界遺産の白神山地と津軽平野が一望に見える絶景を眺めながらのロングクルージングとスキーワークス。スノーシューによるトレッキングツアーやスキー体験できます。
●受入期間/12月下旬~3月中旬
●体験可能時間/9:00~16:00
●体験人数/3~400人
●料金/インストラクター1名につき17,600円~
※大鰐温泉名物のモヤシ栽培やシャモロックの飼育見学、炭焼き・木工加工体験と組み合わせることが可能。事前学習についてはお問合せ下さい

おおわに自然村

MAP D-2

■住所/〒038-0202 大鰐町長峰駒木沢420-200
■TEL/0172-47-6567 ■URL/http://owani-s.com/

マスク着用必須、検温・消毒実施。発熱の場合入場制限あり

棒パン作り(焼肉入り)・石釜ピザ作り体験 (30~60分)

生地を伸ばすところから始まり、おおわに自然村の豚肉やワインと一緒に、野菜をトッピングし、焼き上げます。大自然の中での体験ができます。
●受入期間/5月~10月
●体験可能時間/10:00~15:00
●体験人数/最大30名
●料金/ピザ小(15cm)・棒パン500円
ピザ大(25cm)1,000円

あおもりコト・モノ語り 食の宝庫! 青森県の郷土料理

MAP C-2

三方を海に囲まれた青森県は、地域によって気候風土や地理的な条件が異なるため、郷土料理にもそれぞれの地域ならではの特徴が見られます。

けの汁(津軽地方)

大豆や大根、山菜などを細かく切ったものを大鍋で煮込んで、味噌やしょう油で味付けし、少しづつ温め直して食べる伝統料理です。

じやつぱ汁(津軽地方)

鯵の身をおろした後の頭、中骨、内臓などに野菜を加えた、味噌仕立ての鍋料理です。

ひつみ(南部地方)

鶏肉や野菜などをたっぷり入れた汁に、水でこねた小麦粉をひつまんで(「引きちぎって」の方言)入れる料理です。

食用菊「阿房宮」(南部地方)

花びらをみそ汁に散らしたり、酢の物にして味わいます。汁が短いため蒸して乾燥し、はし菊として保存します。

青森ワイナリーホテル

MAP D-2

■客室数/172室
■住所/〒038-0223 大鰐町大字島田字滝ノ沢100-9
■TEL/0172-48-2881
■URL/http://www.a-wineryhotel.com/

新型コロナウィルス感染症対策として
●入館時検温 ●館内マスク着用必須 ●消毒実施 ●37.5℃以上の方は入館をお断りいたします。

テーブルマナー (90分)
フランス料理フルコースで当ホテルグランシェフによるテーブルマナーを体験します。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/12:00~20:00
●体験人数/10~120人
●料金/宿泊代金+1,100円

ホテル客室ベッドメイク研修 (40~60分)
ホテル客室のベッドメイクや清掃などを職場体験します。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/宿泊翌日の9:00~11:00
●体験人数/10~50人
●料金/550円

ねぶた跳人体験 (30分)
地域伝統文化の歴史を体験し、人との繋がりを学び故郷への関心を深めます。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/19:00~21:00
●体験人数/30~100人
●料金/330円

※屋外にて開催

板柳町ふるさとセンター

MAP C-2

■コテージ数/6棟(定員40名)
■住所/〒038-3690 板柳町大字福野田字本泉34-6
■TEL/0172-72-1500
■URL/http://www.town.itayanagi.aomori.jp/tourism/furusato/index.html

りんご産業を学ぶ [P28参照]

ミニトマト収穫体験 (15分)
温室内で、水耕栽培のミニトマトを収穫します。
●受入期間/3月~6月
●体験可能時間/9:00~12:00, 13:00~16:00
●体験人数/1~20人
●料金/200円
※予約不可(先着順)
※生育・作業状況により臨時休業する場合がございます。

津軽・ほっとステイネットワーク

MAP C-2

ふれあって感動する~農作

エリア別体験施設一覧



農業生産法人 (株)グリーンファーム農家蔵 MAP C-2

■住所/〒036-0202 平川市金屋中松元88-1
■TEL/0172-88-5039

ふれあつて感動する~農作業体験と農家民泊~ [P30参照]

ねぶた祭り農業・農村丸ごと感動体験ファームステイ (2泊) A
農作業全般(りんご・野菜・花栽培及び収穫など)、共同調理や地域文化の継承などの生活体験と、地域のねぶた運行に参加します。

蔵・農家庭園ウォッチング&さくらんぼ収穫体験 (3時間) B
国の有形文化財の蔵並を見ながら、農家庭園を散策し、さくらんぼの収穫をします。収穫したさくらんぼのお土産付です。

蔵・農家庭園ウォッチング&りんご収穫体験 (3時間) C
国の有形文化財の蔵並を見ながら、農家庭園を散策し、りんごの収穫をします。収穫したりんごのお土産付です。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
A 8月1日~4日	終日	2~200人	要相談
B 7月上旬	9:00~16:00	20人	要相談
C 10月上旬~11月上旬	9:00~16:00	20人	要相談

津軽のお宿 南田温泉 ホテルアップルランド MAP C-2

■客室数/72室
■住所/〒036-0114 平川市町居南田166-3
■TEL/0172-44-3711
■URL/http://www.apple-land.co.jp

弘前ねぶた・青森ねぶた体験 (40分)
青森県の代表なお祭り「弘前・青森の両地区のねぶた・ねぶた」を体感します。終了後に「幸せの鈴」をプレゼント。
●受入期間/4月~10月
●体験可能時間/19:00~21:00
●体験人数/30~150人
●料金/1団体44,000円
※雨天時は、要相談の上館内にて離子の演奏を聞きハネットの体験をします。

津軽伝承工芸館 MAP C-2

■住所/〒036-0412 黒石市袋富山65-1
■TEL/0172-59-5300
■URL/http://www.tsugarudensho.com/

マスク着用必須・消毒実施

津軽の伝統芸能:津軽三味線を学ぶ [P10参照]

津軽塗工房 (60分) A
あらかじめ重ね塗りしておいた箸やペンダントなどを研ぎ出して仕上げます。

こけし絵付け (60分) B
津軽こけしの絵付け体験や、こけしのペン立て、こけしの孫の手などに絵付けします。

郷土芸能体験 (40~90分) C
日本三大流し踊りの「黒石よされ踊り」の体験や、津軽三味線、津軽民謡の鑑賞を行います。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
A 通年	9:00~17:00	2~200人	1,500円
B 通年	9:00~17:00	2~200人	1,500円
C 通年	9:00~17:00	30~80人	1,100円~2,200円

青森県産業技術センター りんご研究所 MAP C-2

りんご産業を学ぶ [P28参照]

田舎館村埋蔵文化財センター MAP C-2

縄文の歴史を学ぶ [P12参照]

遊稻の館 MAP C-2

■住所/〒038-1112 田舎館村大字垂柳字長田47
■TEL/0172-58-4689

ミニリース作り体験
古代米の稲穂で作ったリースに、古代米染めの生地を使った装飾品などを飾りつけます。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/10:00~15:00
●体験人数/5~30名 ●料金/500円

あおもり
コト・モノ
語り

いにしえの街並みが残る黒石の「こみせ」

藩政時代から続く「こみせ」の通りには、造り酒屋や蔵、国の重要文化財の商家や登録記念物の庭などが並び、三段の望楼の上に警鐘台が設置された消防丸所が、大正時代から大切に使われています。

このまちは、やきそばに「つゆ」をかけた「黒石つゆやきそば」が50年以上も地元の味として愛されています。



日本一、弘前公園のソメイヨシノ

桜の名所として名高い弘前公園。春には、52種、約2,600本の桜が咲き誇ります。三の丸にあるソメイヨシノは幹の周りが5.37mと日本最大で、推定樹齢100年以上の巨樹の桜が満開となった姿は圧巻です。弘前公園のソメイヨシノの歴史は、明治15年(1882)に1,000本のソメイヨシノが植栽されたのが始まりとされています。



奥津軽・白神山地周辺

立佞武多の館 MAP C-2

青森の祭り:ねぶた・ねぶたを学ぶ [P8・45参照]

太宰治記念館「斜陽館」 MAP B-2

青森の文学:太宰治・寺山修司を学ぶ [P26参照]

青函トンネル記念館 MAP A-2

■住所/〒030-1711 外ヶ浜町字三厩龍浜99
■TEL/0174-38-2301
■URL/http://seikan-tunnel-museum.jp/

マスク着用必須、検温・消毒実施、ケーブルカー乗車制限あり

青函トンネル「体験坑道」(60~90分) MAP B-2

展示ホールでは、様々な資料と立体モデルで学び、ケーブルカーに乗って、海面下140m地点の海底トンネルへ。実際にトンネル工事に使われた作業坑などを、見て世界に誇る大事業の足どりを学びます。
●受入期間/4月下旬~11月上旬
●体験可能時間/8:40~17:00
●体験人数/20~50人
●料金/20名以上1人1,200円
※ケーブルカー運行は時刻表があり予約時要相談。
※記念館内にレストラン完備。40名までの団体昼食が可能。

津軽三味線会館 MAP B-2

■住所/〒037-0202 五所川原市金木町朝日山189-3
■TEL/0173-54-1616
■URL/http://www.kanagi-gc.net/syami/index.html

津軽の伝統芸能:津軽三味線を学ぶ [P10参照]

金山焼『陶芸教室 ちゅうばち』 MAP C-2

■住所/〒037-0011 五所川原市金山字千代鶴107-4
■TEL/080-8488-2485 ■URL/https://yakimonoya3.localinfo.jp

金山焼 手びねり陶芸体験 (60分)
薪窯で焼き上げる金山焼の手びねり陶芸体験。やきものの原点とも言える薪窯で焼き上げる、焼締めの技法を使った金山焼を作ります。
●受付期間/通年
●体験可能時間/応相談(通常10:00~15:00)
●体験人数/1回あたり1~80名
●料金/一般1,550円 中学生まで1,200円

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用必須、出発前に検温を実施してください。
6人掛け机13台を4人掛けにして対応しています。

かなぎ元氣村「かだるべえ」 MAP B-2

■住所/〒037-0207 五所川原市金木町蒔田桑元39-2
■TEL/0173-52-2882
■URL/https://kanagi-genkimura.org

うんぺい作り (90分) MAP C-2

昔から津軽地方に伝わる郷土のお菓子「うんぺい」の作り方を学ぶ
●受入期間/4月~11月(毎週木~日曜日)※ご予約はその限りであります
●体験可能時間/10:00~16:00
●体験人数/人数は要相談 ●料金/1,650円

ひばリース作り (90分) MAP C-1

日本三大美林の一つである、金木特産の青森ひばの鉢巻を使って、縄をない、季節の飾をあしらったリースを作る。
●受入期間/4月~11月(毎週木~日曜日)※ご予約はその限りであります
●体験可能時間/10:00~16:00
●体験人数/要相談 ●料金/1,650円

津軽鉄道株式会社 MAP C-2

■住所/〒037-0063 五所川原市字大町39
■TEL/0173-34-2148 ■URL/http://tsutetsu.com/

[新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組みについて]

津軽鉄道株式会社では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の対策を実施しております。ご利用のお客様におかれましても、手洗いやマスク着用、咳工チケットの感染予防対策に、ご理解ご協力をお願い申上げます。

※鉄軌道事業者における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドラインに基づき、以下の内容を実施しております。

●従業員の体調管理 ●駅待合室と車内の換気 ●駅待合室と車内の定期的な消毒 ●係員のマスク着用(熱中症対策として状況によりマスクを外す場合もあります)。

※お客様へのお願い

●手洗いとアルコール消毒の励行をお願い致します。●マスクの着用と会話は控えめにするよう協力をお願い致します。●駅待合室と車内換気実施へのご理解とご協力をお願い致します。●発熱などの症状のあるお客様には、ご利用の自粛をお願いしております。

乗車と改札体験

季節ごとに運行しているイベント列車のストーブ列車(12~3月)、風鈴列車(7~8月)、鈴虫列車(9~10月中旬)に乗車。津軽五所川原駅で乗車前もしくは降車後に改札体験ができます。

※上記期間以外は通常列車となります。

●受入期間/通年 ※予約約

●体験可能時間/乗車は要相談

改札体験は9:00~16:00(月~金曜日の約30分)

●体験人数/要相談 ●料金/通常運賃もしくは団体運賃

※改札体験は無料

中泊活ママクラブ(小泊漁協内) MAP B-2

■住所/〒037-0542 北津軽郡中泊町大字小泊字大山長根128
■TEL/0173-64-2641

津軽海峡メバル網外し体験ツアー (120分)

中泊町の特産品、高級魚ウスマバル「津軽海峡メバル」を食べて、学べて、体験できるツアーです。刺し網漁を行なう6月中旬~8月下旬までの旬の時期に開催し、市場や製氷庫を見学、メバル料理の試食、メバル網外し体験ができます。

●受入期間/6~8月末 ●体験可能時間/19:00~21:00

●体験人数/最大20名 ●料金/2,000円

マスク着用と手指消毒にご協力お願いします。

つがる市木造亀ヶ岡考古資料室(縄文館) MAP C-2

■住所/〒038-3283 つがる市木造館岡屏風山195
■TEL/0173-45-3450

縄文の歴史を学ぶ [P12参照]

陶芸教室 (90分)

亀ヶ岡遺跡の現地で、陶芸及び縄文土器等制作体験をします。

●受入期間/通年 ●体験可能時間/9:30~15:00

●体験人数/10~100人

●料金/2,000円 ※料金は人数により割引もあります。

※作品は1ヶ月ほどかけて焼成し、発送します。

鰺ヶ沢町政策推進課 MAP C-1

世界自然遺産「白神山地」を学ぶ [P14参照]

あおもり コト・モノ 語り

青森県内のホタル

ホタルはもともとは暖かい地域を

エリア別体験施設一覧



長谷川自然牧場 MAP C-1

■住所/〒038-2701 鮫ヶ沢町大字北浮田町字今須前田30
■TEL/0173-72-6579
■URL/http://www7b.biglobe.ne.jp/~hasegawasizenbokuzou/

動物とふれあい・生産現場見学体験 (30~120分)
飼育動物の卵集めやエサやりなど生産現場の作業体験を行います。お土産や試食会もあります。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/10:00~16:00
●料金/1,000円

命をいただく食の大切さを学ぶ (60~120分)
自分の手で白神こだま酵母を使用したパンと牧場産の熟成豚肉を使ったソーセージを作りスープ付きで食事します。命の源を頂く実感を感じていただきます。
●受入期間/通年 ●体験人数/3~40名
●体験可能時間/10:00~16:00
●料金/1,500円~2,000円

NPO法人 白神自然学校一ツ森校 MAP C-1

■住所/〒038-2723 西津軽郡鮫ヶ沢町大字一ツ森町字上禿88-2
■TEL/0173-82-7057 ■URL/http://school.shirakami.gr.jp/

白神山地植林体験 (50分)
白神山地の世界遺産周辺の杉林に広葉樹のブナ等を植林して混合林をつくり、世界遺産のブナ林の保護に尽力する体験をします。
●受入期間/6・7月~9・10月 ●体験可能時間/10:00~15:00
●体験人数/7~最大80名 ●料金/1,320円

ブナ林のトレッキング体験 (120分)
白神山地の世界遺産の核心部分を近場で体験。素晴らしいブナ巨木の中を歩くトレッキングを体験できます。
●受入期間/5月~11月頃 ●体験可能時間/10:00~12:00
●体験人数/7~最大120名 ●料金/990円

白神の遊々の森での林業体験 (150分)
白神自然学校遊々の森で、杉の木の除伐体験を通じ林業の役割を学びます。
●受入期間/4月~11月頃 ●体験可能時間/9:30~12:00
●体験人数/7~120名 ●料金/550円

津軽の殿様発祥の地を歩く体験(国史跡・種里城) (90~120分)
津軽藩発祥の祖と言われる大浦光信公が館を構えた「光信公の館」周辺を散策すると共に、津軽平野を静定し、今日の繁栄の礎を学びます。
●受入期間/5~10月 ●体験可能時間/9:00~12:00
●体験人数/20~100名 ●料金/550円

津軽の統一に尽くした大浦光信が辿った古道ツアー (180分)
約6kmの山道を歩き、種里城の資料見学をします。津軽藩がどういう経緯で統一されたか、その淵源を知る古道探索で、北国の津軽の歴史が分かることで歴史が面白くなります。
●受入期間/4月中旬~10月下旬
●体験可能時間/8:30~12:00
●体験人数/7~最大30名 ●料金/1,650円

泊まる アオーネ白神十二湖 MAP C-1

■客室・コテージ数/10室・17棟
■住所/〒038-2206 深浦町大字松神字下浜松14
■TEL/0173-77-3311 ■URL/https://shirakami-jyuniko.jp/

世界自然遺産「白神山地」を学ぶ [P14参照]

青森の雪とふれあい冬を楽しむ [P20参照]

泊まる ブナの里 白神館 MAP C-1

■客室数/27室
■住所/〒036-1411 西目屋村大字田代字神田60-1
■TEL/0172-85-3011 ■URL/https://www.shirakamikan.com

青森の雪とふれあい、冬を楽しむ [P20参照]

ブナコ西目屋工場 MAP C-1

■住所/〒036-1411 西目屋村大字田代字稻元196
■TEL/0172-88-6730 ■URL/http://www.bunaco.co.jp

ブナコ製作体験プログラム (90分)
・ブナコ製品の製造工程をそれぞれの工程について解説を聞きながら工場見学をします。
・直径15cmサイズの材料を使用し、小物入れを作ります。(成形作業、のり付け作業)
●受入期間/通年 ●体験可能時間/9:30~15:30
●体験人数/10~40名 ●料金/2,700円
※対象:小学3年生以上。※要予約
※このプログラムでは、仕上げ塗装を各自の判断で行います。
(授業やご自宅で塗装作業をして完成。)
※小物入れは、当日お持ち帰りになります。

新型コロナウイルス等感染症対策として、ご入場の際はマスクの着用、検温・手指の除菌にご協力ください。(発熱の場合は入場制限あり)

道の駅 津軽白神 (津軽白神ツアー) MAP C-1

■住所/〒036-1411 中津軽郡西目屋村大字田代字神田219-1
■TEL/0172-85-3315
■URL/https://suirikubus.jp

水陸両用バス「ニシメヤ・ダムレイクツアー」 (60分)
北東北では唯一の水陸両用バスに乗車し、津軽白神湖(津軽ダム)の湖面を周遊しながら、大自然を体で感じることができます。(バスガイドによる案内付。)
●受入期間/4月下旬~10月31日
●体験可能時間/9:30~15:40 ※1日4便
●体験人数/38名 (状況によっては、席数制限あり)
●料金/高校生1,500円 中学生1,000円 小学生800円
●運休日/毎週水曜日、その他法定点検日などホームページで確認ください。
※要予約
マスク着用必須



白神山地ビジャーセンター MAP C-1

■住所/〒036-1411 西目屋村大字田代字神田61-1
■TEL/0172-85-2810 ■URL/http://www.shirakami-visitor.jp

世界自然遺産「白神山地」を学ぶ [P14参照]

白神山地の成り立ちを体験
白神山地ビジャーセンターを中心に、白神山地の誕生から生物・植物の営みを学びます。3つのインターブリッジプログラムの中から幾つかのメニューを組み合わせ、独自のプログラムを組むことができます。

1. ビジャーセンターインターブリッジ

主に白神山地ビジャーセンター館内で行います。

フィールド	所要時間	テーマ	対象
展示ホール	60分	自然観察・くらし	小学生以上
映像ホール	35分	自然観察・くらし	小学校高学年以上
会議室	60~120分	ディスカッション	小学校高学年以上
工作室	60~120分	木工教室等	小学校高学年以上
展示林		自然観察	小学生以上

2. トレッキングインターブリッジ

既設の散策道をトレッキングしながら行います。

フィールド	所要時間	テーマ	対象
ブナ林散策道	60~120分	自然観察・環境・世界自然遺産	小3以上
ブナ巨木ふれあいの径	90分	自然観察・環境・世界自然遺産	小3以上

3. インターブリッジフィールド MAP C-1

白神山地ビジャーセンターが管理する遊々の森で行います。(大型バス直行不可)

フィールド	所要時間	テーマ	対象
ネイチャーゲーム	60~120分	自然観察・白神山地の環境	小学生以上

※どのように組み合わせることができます。内容によっては、対象学年が変わることもありますので、事前にご相談下さい。

- 受入期間/通年(ただし屋外は5月上旬~10月上旬)
- 体験可能時間/4月~10月8:30~17:00、11月~3月9:00~16:30
- 体験人数/20~200人 ●料金/要相談

アクアグリーンビレッジANMON MAP D-1

世界自然遺産「白神山地」を学ぶ [P14参照]

青森の雪とふれあい、冬を楽しむ [P20参照]

(有)ヒーリングエコツアーコーディネーター MAP D-1

■住所/〒036-8155 弘前市中野2丁目3-6(事務所)
■TEL/0172-36-2785 ■URL/http://www.eco-u.jp

新型コロナウイルス感染症対策をお願い致します。
①前泊地では検温をしてください。②現地では、ガイドスタッフのマスク着用をお許しください。

自然体験ウォーキング (90~180分)

白神山地を専門の自然解説員と歩き、コース内では自然の構造が「命のバトンタッチ」のテーマパークであることを学びます。日本人の生活の原点を考えることで、今後の人の間と自然のかかわりを学びます。

- 受入期間/5月~10月 ●体験可能時間/9:00~15:00
- 体験人数/解説員1名で10人前後 ※受入人数を相談
- 料金/解説員1名・1~3時間20,000円

急救法講習 (120分)

都市型災害等を含め、日常生活の中で発生し得る緊急時の応急手当を学びます。

- 受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00~15:00

※雨天時対応プログラム

緊急ザイルワーク (30~120分)

さまざまなロープの結び方などを学びます。

- 受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00~15:00

※雨天時対応プログラム

白神マタギ舎 MAP C-1

■住所/〒036-1411 西目屋村大字田代字神田104-35
■TEL/0172-85-2628
■URL/http://matagisha.sakura.ne.jp

白神山地自然観察トレッキング (120分)

白神山地の自然のしくみと、人と自然の関わりを学びます。

- 受入期間/5月末~10月末 ●体験可能時間/8:00~16:00
- 体験人数/40人まで ●料金/要相談

※事前学習としてガイドの講話も可能です。

小説「津軽」の像記念館 MAP B-1

■住所/〒037-0511 中泊町小泊字砂山 1080-1
■TEL/0173-64-3588

記念館見学

小説「津軽」が誕生するまでの経緯や子守りタケと太宰の出会いについて知ることができます。

- 受入期間/通年

(4~9月無休、10~3月毎週月・火休館、年末年始休館)

※祝日と重なる場合はその翌日

- 体験可能時間/9:00~16:30(11月~3月は16:00)

●体験人数/30人まで

●料金/小・中学生50円(40円)、高校生100円(80円)、一般200円(180円)

※()内は20人以上の料金

十和田・八戸周辺

手づくり村 鯉艸郷 MAP C-3

■住所/〒034-0106 十和田市深持字鳥ヶ森2-10
■TEL/0176-27-2516 ■URL/https://risoukyo.com/

郷土料理体験 (120分) A

青森南部地方の古くから伝わる料理を作る(なべっこだんご、そばもち、ひつみ等)

そば打ち体験 (120分) B

石うすで挽いたそば粉を使用して「水まわし・こね・のし・切る」を体験し、試食します。

ブルーベリー摘み取り体験 (60分) C

色々な種類のブルーベリーを摘み取り、採って食べます。

ピザ作り体験 (60分) D

エリア別体験施設一覧



奥入瀬渓流温泉スキー場 MAP C-3

■住所/〒034-0303 十和田市大字法量字焼山64-122
■TEL/0176-74-2008 ■URL/http://www.oirase.or.jp

スキー体験

雄大な八甲田連峰を一望できます。ロケーション抜群のスキー場で、初心者から上級者までレベルに合わせてスキーやスノーボードを楽しめます。

- 受入期間/12月中旬～3月下旬
- 体験可能時間/9:00～22:00
- 体験人数/最大400人
- 料金/1日券 中学生以上 2,720円 小学生以下 2,200円
半日券 中学生以上 1,570円 小学生以下 1,150円
ナイター券 中学生以上 1,570円 小学生以下 830円

十和田ビジターセンター MAP C-3

■住所/〒018-5501 十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486
■TEL/0176-75-2368
■URL/https://www.bes.or.jp/towada/

奥入瀬渓流自然観察トレッキング (180分)

奥入瀬渓流は、十和田湖からあふれた水によって形成されたU字型の渓谷で、長さは14km。十和田八幡平国立公園の特別保護区内であり、特別名勝及び天然記念物にも指定されています。美しい奥入瀬渓流の自然を観察しながら、銚子大滝～石ヶ戸(約7キロ)をトレッキングします。

- 受付期間/4月中旬～11月上旬
- 体験可能時間/9:00～15:00
- 体験人数/5～40名(ガイド1人につき10人)
- 料金/教育旅行生の場合、ガイド1人につき20,000円

※小雨決行。雨合羽等をご用意ください。

※天候により、トレッキングは中止になる場合があります。雨天の場合、ビジターセンターの見学や館内解説を受けることができますので、ご相談ください。

奥入瀬渓流館 MAP C-3

■住所/〒034-0301 十和田市大字奥瀬字板久保183
■TEL/0176-74-1233 ■URL/http://www.oirase.or.jp

奥入瀬渓流館 見学 (30分)

奥入瀬に関する歴史や動植物の生態系を学ぶジオラマ等があります。

- 受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00～16:30
- 体験人数/最大50人 ●料金/無料

渓流足ストサイクル楽チャリ体験 (4時間)

奥入瀬渓流(約14km)の自然を間近に体感しながら電動自転車で樂々と散策できます。

- 受入期間/4月～11月 ●体験可能時間/8:30～16:30
- 体験人数/最大20人(※要予約)
- 料金/電動アシスト付 4時間1,500円～
シティサイクル 4時間1,000円～

こけ玉作り体験 (50分)

苔を丸めて「小さな奥入瀬」を表現します。どなたでも簡単に作ることができます。

- 受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00～16:00
- 体験人数/最大40名 ●料金/2,000円(材料費・講師料込み)

奥入瀬ひょうたんランプ制作体験 (60分)

ひょうたんに穴をあけてランプを制作します。穴のデザインは「奥入瀬で眺められる苔」を題材としています。

- 受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00～16:00
- 体験人数/最大40名 ●料金/5,000円(材料費・講師料込み)

新型コロナウイルス等感染症対策として/マスク着用、検温・消毒実施

奥入瀬湧水館 MAP C-3

■住所/〒034-0301 十和田市大字奥瀬字板久保182
■TEL/0176-74-1212 ■URL/http://www.oirase.or.jp

奥入瀬源流水製造見学 (30分)

奥入瀬源流水の製造ラインを見学します。

- 受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00～16:30
- 体験人数/最大30人 ●料金/無料

十和田湖遊覧船 MAP D-3

十和田湖・奥入瀬渓流・八甲田の自然を観察する [P18参照]



奥入瀬自然観光資源研究会 MAP C-3

■住所/〒034-0089 十和田市西二十三番町11-1サングリーン103
■TEL/0176-23-5866 ■URL/https://www.oiken.org/

奥入瀬渓流コケ散歩 (60～90分)

300種以上のコケが確認され、「日本の貴重なコケの森」にも認定された奥入瀬渓流で、ゆっくりとした森歩きや写真撮影、観察を通して自然の幅広い愉しみ方を見つける体験です。

- 受入期間/5月中旬～11月上旬
- 体験可能時間/9:00～14:00
- 体験人数/最大15名 ●料金/1,500円

十和田バラ焼きゼミナー MAP C-3

■住所/〒034-0082 十和田市西二番町7-4
■TEL/0176-25-7758

十和田バラ焼きでラビアンローズ

十和田バラ焼きゼミナー指導のもと、十和田の歴史や文化を学び、バラ焼き調理を体験します。

- 受入期間/通年 ●体験可能時間/11:00～13:00
- 体験人数/40～300名 ●料金/2,000円
- 体験場所/サン・ロイヤルとわだ

※司バラ焼き大衆食堂にて少人数で実施可。

十和田市馬事公苑 駒っこランド MAP C-3

■住所/〒034-0106 十和田市大字深持字梅山1-1
■TEL/0176-26-2100(称徳館)0176-20-6022(駒っこ牧場)
■URL/http://komakkoland.jp

●マスク着用の徹底 ●入館・入場時の検温実施(37.5℃以上の場合、入苑・入館・入場不可)
●手指の消毒実施 ●各種体験人数は、当面、記載の半数程度 ●展示解説は当面休止

称徳館 観覧 (20～45分)

馬の文化を知ることができます。

- 受入期間/通年 ※休館日:月曜日(祝日の場合翌日)、年末年始を除く
- 体験可能時間/9:00～16:30(最終入館16:00)
- 体験人数/解説・語りべ希望の場合100人程度まで
- 料金/一般310円(250円)、高校・大学生105円(84円)、中学生以下無料

駒っこ牧場 (10～60分) MAP C-3

乗馬(ひき馬)、馬車(冬は馬そり)、にんじんあげなどを体験できます。

- 受入期間/同上 ●体験可能時間/10:00～15:00
- 体験人数/体験乗馬・馬車:100人、にんじんあげは何人でも可
- 料金/体験乗馬・馬車:子ども(小学生以下)500円(400円)おとな(中学生以上)700円(650円)
にんじんあげ:1カップ100円

※自由行動にて苑内散策(遊具で遊ぶ、植物観察、昆虫採集など)も可能です。(8:30～18:00 11月～3月は17:00まで)
※料金()内は団体割引料金となります。称徳館は20名以上、牧場に関しては事前にご相談下さい。

八甲田パノラマパークゴルフ場 MAP C-3

■住所/〒034-0303 十和田市大字法量字焼山64-458
■TEL/0176-24-2277
■URL/http://www.oirase.or.jp

パークゴルフ体験 (60～120分)

雄大な八甲田連峰を一望できるロケーション抜群のパークゴルフ場で、コミュニケーションスポーツ「パークゴルフ」を体験します。

- 受入期間/4月下旬～11月中旬 ●体験可能時間/8:30～17:00
- 体験人数/最大100人
- 料金/小・中学生210円、高校生・一般520円、用具貸出料310円(20人以上は2割引き)

寺山修司記念館 MAP C-4

青森の文学:太宰治・寺山修司を学ぶ [P26参照]

十和田湖ふ化場 MAP D-3

■住所/〒018-5511 秋田県鹿角郡小坂町十和田湖字生出
■TEL/0176-75-2353
■URL/http://www.towadako-gyokyou.com

十和田湖ふ化場見学 (30～60分)

魚が住めないとされた十和田湖で、22年間の苦労の末、ひめますのが放流に成功した和井内貞行の歴史とふ化場の作業を学びます。

- 受入期間/4月～11月
- 体験可能時間/9:30～14:30
- 体験人数/1～30名 ●料金/無料

幕末南部藩歴史文化遺産の象徴「幻の穴堀」 MAP C-3

■住所/〒034-0001 十和田市大字三本木字倉手79番地
■TEL/0176-26-2755

来て 見て 觸れて! 幕末南部藩の感動のドラマ、壮大な歴史のロマン探訪の世界へ。

風雲急をつげた三本木原の木枯らしに散っていく新渡戸十次郎に触れ、難を極めつつも優れた知恵による南部土方衆掘削工事跡を実体験。高度な隧道掘削工事技術や生々しい手堀の痕跡や幽玄の世界を体験。また、飢饉、一揆のデパートと言われる南部藩に触れる話やサムライ十次郎による定住開拓づくり構想救済事業、そして息子新渡戸稻造博士へつながる文化歴史トリビア解説(解説者同行)。人呼んで「幻の穴堀」探検を中心に幕末南部藩の歴史文化を学びます。文化歴史にしっかり支えられた重みのある観光に触れてみて下さい。

- 受入期間/4月～12月 ●体験可能時間10:00～16:00
- 15名以上は2組以上に分散 ●小中高生400円大人500円
- 体験入坑を含め約1時間

※団体も受け付けています。(15名以上)
※ヘルメット・長くつ用意しています。

青森県立三沢航空科学館 MAP C-4

■住所/〒033-0022 三沢市三沢字北山158
■TEL/0176-50-7777 ■URL/https://www.kokukagaku.jp

科学実験工房によるワークショップ (30～60分)

科学原理を利用した工作を実施します。 ●受入期間/通年
●体験可能時間/9:00～17:00(入館は16:30まで)
●体験人数/最大50名
(ただしメニューにより減らす場合がございます)
●料金/無料(ただしワークショップでの工作を希望の場合材料費がかかります。50～300円程度)

サイエンスショー (30～60分)

身近な科学現象をテーマにした実験ショーを行います。

- 受入期間/通年
- 体験可能時間/毎日9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 体験人数/最大15人

※ワークショップ、サイエンスショーは団体でご来館される方を対象に2週間前までにお申込みいただければ、開催日・開催時間・テーマは調整可能
メニューはこちら
https://www.kokukagaku.jp/06_science/06_frame.html

航空ゾーン、エアコリドーギャラリー (60～120分)

青森県にかかわりのある航空機・航空史を紹介。模型飛行機を飛行年度毎に展示し、飛行機の発達の歴史がわかるようになっています。エアコリドーギャラリーの模型展示機数は約800機です。

- 受入期間/通年
- 体験可能時間/9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 体験人数/～300名
- 料金/中学生以下無料、高校生300円(240円)
()内は20名以上の団体料金。

エネルギーと科学について学ぶ [P22参照]

※現在、新型コロナウイルス感染症の影響で団体のワークショップは中止

小川原湖カヤックラボ MAP C-4

■住所/〒033-0022三沢市三沢淋代平116-2858
小川原湖観光センター レークビア1階
■TEL/080-6023-7191・080-6591-6586
■URL/https://ogawarakokayak.com/

小川原湖アクティビティ体験 (60分)

青森県最大の湖・小川原湖でのカヤック体験。浅瀬なので初めてでも安心して楽しめます。ガイドインストラクターとともにカヤックや冬は氷上ウォークやトレッキングも楽しめます。

- 受入期間/通年(氷上ウォーキングやトレッキング)
通年(カヤック)5～10月
- 体験可能時間/10:00～16:00
- 体験人数/1～30名

野辺地町漁業協同組合 MAP C-3

■住所/〒039-3131 野辺地町字野辺地568
■TEL/0175-64-2264 ■URL/http://www.jf-nohejimachi.com

漁業体験 (90分)

各種漁業作業を体験し、最後にホタテの浜焼きまたは味噌汁を試食します。

- 受入期間/5月～7月
- 体験可能時間/10:00～12:00
- 体験人数/20～40人
- 料金/2,000円～3,000円

青い海の養殖体験 (180分)

エリア別体験施設一覧



復元北前型弁才船「みちのく丸」 MAP C-3

■住所/〒039-3131 上北郡野辺地町野辺地 地内(常夜燈公園内)
■TEL/0175-64-2111
■URL/http://www.town.noheji.aomori.jp/

船内見学会 (20分)
江戸時代から明治期にかけて日本海海運の主力となった商船である北前船を、日本古来の和船の建造技術や歴史を後世に伝えるために、船大工16名によって建造された実物大の復元船です。船内見学では、実際に乗船して見学しながら、ガイドが北前船の当時の活躍、歴史、文化についてレクチャーします。
●受入期間/8月~10月 ●体験可能時間/9:00~15:30
●体験人数/最大10名 ●料金/無料

マスク着用必須、受付時検温実施、発熱の場合入場制限あり

柴崎地区健康レクリエーション施設 MAP C-3

■住所/〒039-3177 上北郡野辺地町字柴崎10-5
■TEL/0175-64-7952
■URL/http://www.town.noheji.aomori.jp/

野外活動体験
バーベキュー施設及びキャンプ場を完備しているので、自炊活動や催し物を行うのに最適です。
晴天の夜空は、まるで星降る丘のようで星に手が届きそうです。
●受入期間/4月下旬~10月末
●体験可能時間/9:00~翌10:00
●体験人数/50名~100名程度
●料金/バーベキュー施設 炉1基あたり300円/時間
キャンプ場 テント1張あたり600円/日

マスク着用必須、受付時検温実施、発熱の場合入場制限あり

東八甲田ローズカントリー MAP C-3

■住所/〒039-2500 七戸町字山館25-1
■TEL/0176-62-5400
■URL/https://www.shichinohe-kankou.jp/rose

バラの摘み取り体験 (20分)
ローズカントリーへ出荷販売用に栽培しているバラの摘み取り(採花)体験。
●受入期間/5月中旬~10月上旬(要予約)
●体験可能時間/9:30~15:00
●体験人数/5~50人程度 ●料金/1本150円

バラのアレンジメント体験 (60~120分)
バラやドライフラワー及びプリザーブドフラワーを使ったアレンジメント・リース作りを体験。
●受入期間/通年(要予約) ●体験可能時間/9:30~15:00
●体験人数/5~50人 ●料金/2,000円~

宿泊交流施設「かだれ天間林」 MAP C-3

■住所/〒039-2781 七戸町字花松林ノ根35-1
■TEL/0176-68-2116(七戸町役場農林課)
■URL/https://www.shichinohe-kankou.jp/kadare/

かだれ田舎体験 (30分~)
稲刈りやにんにく、りんご等の農業体験やダッヂオーブン料理、そば打ち等の食文化体験が体験できます。
●受入期間/各収穫時期等(2週間前まで要予約)
通年(要予約)
●体験可能時間/9:00~16:00
●体験人数/4~50人 ●料金/要相談
※施設内宿泊可能。

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

七戸町立鷹山宇一記念美術館 MAP C-3

■住所/〒039-2501 七戸町字荒熊内67-94
■TEL/0176-62-5858
■URL/http://www.takayamamuseum.jp/

NANBU SENBEI de Culture (南部煎餅ストラップ作り) (90分)
紙粘土に色を付け、装飾し、本物そっくりの南部せんべいに形作り、ストラップに加工します。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/10:00~16:00
●体験人数/5~30人 ●料金/500円
※10日前までにご予約下さい。

EMA de culture(絵馬を学び作ろう) (90分)

絵馬の誕生、庶民信仰とは何か正しい知識を学び、工房にて絵馬の制作を行います。
●受入期間/通年 ●体験可能時間/10:00~16:00
●体験人数/5~30名 ●料金/500円
※10日前までにご予約下さい。

七戸町文化ガイドの会 MAP C-3

■住所/〒039-2501 七戸町字荒熊内67-997 道の駅しちのへ道路・観光情報館内
■TEL/0176-62-2137(七戸町商工観光課内)

「中世の城下町しちのへ」を歩こう (90~120分)
中世の城下町七戸で鎌倉時代からの城跡を中心とした歴史的文化遺産や古い町並みをガイドの案内で巡ります。
●受入期間/4月~11月 ●体験可能時間/9:00~15:00
●体験人数/~60人程度 ●料金/無料
※2週間前までにご予約下さい。

東北町立小川原湖公園 MAP C-4

人と自然の共生を考える [P16参照]

旧南部縦貫鉄道 七戸駅 MAP C-3

■住所/〒039-2512 七戸町字笊田48-1
■TEL/0176-58-7109((一社)しちのへ観光協会)
■URL/https://www.shichinohe-kankou.jp/railbus/

レールバス見学
昭和37年(1962年)~平成9年(1997年)まで野辺地駅と七戸駅を結んでいた「南部縦貫鉄道レールバス」。その車両がファンの熱意で旧七戸駅に保存・一般公開されています。
●受入期間/通年 土・日限定 ●見学可能時間/10:00~16:00
●見学人数/1~40名程度 ●料金/無料
※平日の見学要相談。2月の土日見学は事前予約。

カワヨグリーン牧場 MAP C-4

■住所/〒039-2151 おいらせ町向山5-3331
■TEL/0178-56-4111 ■URL/https://www.kawayo.com/

手作りクラフト体験 (約60分) A
ウッドクラフト・ウールクラフト・リースづくりなど、世界にたったひとつのオリジナル作品を作ります。

手づくり食べもの体験 (60~120分) B

新鮮な牧場産の材料を使って、棒パンづくり・バターフライド・アイスクリームづくり・ソーセージづくりなどが楽しめます。

パークゴルフ (180分) C

うし・ひつじ・うま・うさぎの4コース、全36ホール。広い芝地で自然を満喫しながら初心者でも楽しめます。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
A 4月~11月	9:00~16:30	10~40名	800円~
B 4月~11月	9:00~16:30	15名~	600円~2,000円
C 4月~11月	9:00~17:00	20~80名	500円

※要予約

おいらせ阿光坊古墳館 MAP D-4

■住所/〒039-2165 上北郡おいらせ町阿光坊107-4
■TEL/0178-20-0405
■URL/https://www.town.oirase.aomori.jp/site/kofun/

古代ものづくり体験・講座 (約90分)
匂玉づくり・土器づくり等を体験します。
歴史講座と企画展等も開催します。
●受入期間/一部期間限定
●体験可能時間/9:00~17:00
●体験人数/規定なし
●料金/展示室観覧料 一般210円、高校・大学生100円、小学生50円(入館無料)

※15人以上で、展示室観覧料の団体割引あり。
マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

南部町農林漁業体験実習館チェリウス MAP D-4

■客室数/13室
■住所/〒039-0501 南部町大字上名久井字大渋民山23-141
■TEL/0178-76-1001
■URL/http://www.town.aomori-nanbu.lg.jp

北のフルーツパーラー in 南部町 (60~120分)
※フルーツ狩りなしの場合、60分
農園でフルーツ狩り(旬のフルーツ試食、収穫)をして、その収穫したフルーツでマイ・スイーツを作り、その場で味わう体験メニュー。
●受入期間/通年 ※冬期間はフルーツ狩り利用不可の場合あり
●体験可能時間/10:00~15:00
●体験人数/10名~
●料金/大人2,000円+フルーツ狩り料金
小学生以下1,500円+フルーツ狩り料金
●申込締切/10日前

(株)ACプロモート MAP D-4

■住所/〒031-0841 八戸市大字鮫町字棚久保14番地124
■TEL/0178-38-8420
■URL/https://acpromote.jp

人と自然の共生を考える [P16参照]

種差海岸 MAP D-4

■お問い合わせ先/(株)ACプロモート
■住所/〒031-0841 八戸市鮫町字棚久保14番地124
■TEL/0178-38-8420 ■URL/https://acpromote.jp

磯の生物観察 (120~180分)
種差海岸に岩場にすむ生物の様子にふれ、生物の不思議と自然の大切さを知ることで、生命を尊重する心を育みます。
●受入期間/4~10月
●体験可能時間/9:00~17:00
●体験人数/最大100名
※50名以上の場合は2グループに分かれて体験。
●料金/1,000円~1,500円
参加人数により変動するため事前に相談願います。
※雨天時は近隣の会場に移動し室内にてレクチャーを行います。

地元の漁師さんから学ぶ ~一次産業の大切さと自然からの恵み~ (120~150分)

種差海岸の漁師さんから、漁に関する講義や震災の津波の話などを聞き、一次産業や自然の脅威を学びます。その後は魚介を使って作った漁師鍋を食べます。
●受入期間/通年
●体験可能時間/9:00~14:00
●体験人数/最大100名
●料金/1,500円~2,000円
参加人数により変動するため事前に相談願います。
※雨天時は近隣の会場に移動し室内にてレクチャーを行います。

種差海岸の動物(ウミネコ)、植物観察 (180分程度) MAP D-4

ガイドの案内により種差海岸を散策。種差海岸遊歩道における海浜植物・高山植物の観察や、島嶼でのウミネコ観察・保護の取り組み学習ができます。

●受入期間/2月下旬~10月
(島嶼でのウミネコ観察は3月上旬~8月)
●体験可能時間/9:00~17:00
●体験人数/最大100名※50名以上の場合は2グループに分かれて体験。
●料金/1,000円
参加人数により変動するため事前に相談願います。
※雨天時は近隣の会場に移動し室内にてレクチャーを行います。

種差海岸で星座ウォッチング (60~90分) MAP D-4

講師から星座や星の解説を受けた後、天体望遠鏡などを用いて星や星座の観察をし、地球をとりまく宇宙の構造や季節との関係について知識を深めます。
体験ではキャンプファイヤー等も行います。
●受入期間/通年
●体験可能時間/日没~1時間程度
●体験人数/最大50名
●料金/1,500円
※雨天時は近隣の会場に移動し室内にてレクチャーを行います。

地元の人と一緒に種差海岸の保全活動 (120分) MAP D-4

種差海岸の人が手を加えて景観と生態系を維持してきたという経緯から、市民による環境保全が成功した例として、一緒に草刈を行って保全活動の重要性を学びます。

●受入期間/4月~11月
●体験可能時間/9:00~17:00
●体験人数/最大100名※50名以上の場合は2グループに分かれて体験。
●料金/500~1,500円
参加人数により変動するため事前に相談願います。
※雨天時は近隣の会場に移動し室内にてレクチャーを行います。

達者村ホームステイ連絡協議会 MAP C-D4

■住所/〒039-0892 南部町大字苦米地字下宿23-1
■TEL/0178-84-2123

ふれあって感動する ~農業体験と民家民泊~ [P32参照]

農業体験学習と農家民泊 (半日~2泊3日)
受入会員の自宅に宿泊し、農家の田んぼや畠でその時期に合わせた農作業(稲作、果樹、野菜)を体験します。また、受入会員と一緒に自分たちの食事の調理体験も行います。
●受入期間/通年
●体験可能時間/8:30~17:00
●体験人数/4~100名
●料金/要相談
※日程の組立て等、学校側の相談に応じますので、お問い合わせください。

八戸ポータルミュージアム はっち MAP D-4

■住所/〒031-0032 八戸市三日町11-1
■TEL/0178-22-8228 ■URL/https://hacchi.jp
■休館日/毎月第2火曜日(祝日の場合その翌日)、12月31日及び1月1日

凝縮された八戸を体験 館内見学 (60分)

八戸の歴史、自然、文化、産業のほか、市民作家による多彩な八戸の地域資源の紹介展示などについて館内を案内しながらガイドがレクチャーします。
●受入期間/通年(休館日除く)
●体験可能時間/9:00~17:00
●体験人数/人数は要相談
●料金/無料

エリア別体験施設一覧



史跡根城の広場 MAP D-4

■住所/〒039-1166 八戸市根城字根城47
 ■TEL/0178-41-1726
 ■URL/<https://visithachinohe.com/spot/shiseki-nejo-no-hiroba/>

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合は入場制限あり

ボランティアガイドと歩く復原された中世の城「根城」(60~90分)
 南北朝時代から約300年間八戸地方を治めていた根城南部氏の城跡「根城」。本丸内には安土桃山時代の姿そのままに、主殿や馬屋・工房などが復原されており、ガイドと回ることで正月行事の様子や当時の生活用具、城の中の暮らしを体感できます。

●受入期間/4月~12月上旬(冬期は事前予約)

●体験可能時間/10:00~15:00

●体験人数/1~60名

●料金/小・中学生 団体料金30円(20名以上)

高・大学生 団体料金80円(20名以上)

※団体の場合は要予約(2週間前程度)

※八戸市博物館でも予約受付します(0178-44-8111)

えんぶりミニミニ鳥帽子作り (60分)

八戸の郷土芸能「えんぶり」で使う、馬の頭を象ったとされる鮮やかな鳥帽子を台座付きのミニサイズで作ります。

●受入期間/通年

●体験可能時間/9:00~16:00

●体験人数/1~10名 ※団体の場合は要予約

●料金/700円

八幡馬の絵付け<クラシックコース> (30分)

八戸の代表的な民芸品「八幡馬」を華やかな千代紙や絵の具を使って絵付けします。

●受入期間/通年

●体験可能時間/9:00~16:00

●体験人数/1~10名 ※団体の場合は要予約

●料金/1,500円

八幡馬の絵付け<アレンジ(デコ)コース> (90分)

現代風にアレンジした白く小さな「八幡馬」にスワロフスキーやペンで鮮やかな絵付け、飾り付けを行い、かわいらしい八幡馬を作ります。

●受入期間/通年

●体験可能時間/9:00~16:00

●体験人数/1~10名 ※団体の場合は要予約

●料金/2,000円



あおもり
コト・モノ
語り

青森を北限とする動植物

青森はさまざまな動植物の北限になっており、保存活動も進められています。季節によっては、旅行中に目にできるかもしれません。

平内町の椿

平内町の椿山に咲く椿は、自生する椿としては北限にあり、国の天然記念物に指定されています。1万数千本のヤブツバキが、毎年5月上旬から6月にかけて山全体を真紅に彩ります。

鰺ヶ沢町の天然杉

日本最北端の天然杉の生息地として知られるのが、鰺ヶ沢町の「矢倉山スギ遺伝資源保存林」。樹齢約250年の杉の巨木が見るものを見倒します。

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 MAP D-4

■住所/〒031-0023 八戸市大字是川字横山1
 ■TEL/0178-38-9511
 ■URL/<https://www.korekawa-jomon.jp>
 ■観覧料/小・中学生50円(20人以上30円)
 高校生150円(20人以上80円)

勾玉作り (60分)

滑石を削ったり磨いたりして勾玉を作ります。
 ●受入期間/通年
 ●体験可能時間/9:30~15:00
 ●体験人数/~48名
 ●料金/300円(観覧料別途)
 ※要予約(2週間前)。詳しくは是川縄文館へお問合せ下さい。

火起こし (15分)

マイガリ式で火起こしを体験します。
 ●受入期間/通年
 ●体験可能時間/9:30~15:00
 ●体験人数/要相談
 ●料金/無料(観覧料別途)
 ※要予約(2週間前)。詳しくは是川縄文館へお問合せ下さい。

ユートリー

■住所/〒039-1102 八戸市一番町1-9-22
 ■TEL/0178-27-2227 ■URL/<http://www.youtree.com>

南部菱刺体験 (120分) A

麻の布に木綿糸を刺し込む「菱刺し」を体験します。

南部裂織体験 (90~120分) B

細く裂いた布をはた織機で織り込む南部地方の伝統工芸を体験します。

手焼きせんべい体験 (10~15分) C

南部せんべいの手焼き体験。「てんぼせんべい(やわらかせんべい)」を焼きます。

	受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
A	通年(月・木・金) ※お問合せ受付も月木金のみ	10:00~14:30	~4人	1,000円
B	通年(毎日)	10:00~15:00	~2人	1,000円
C	通年(毎日)	11:00~15:00	~20人	100~180円

※事前にご予約下さい。

櫛引八幡宮

■住所/八戸市八幡字八幡丁3 ■TEL/0178-27-3053
 ■URL/<http://www.kushihikihachimangu.com/>

櫛引八幡宮散策体験 (30~60分)

境内や国宝館など神社を回りながら神主が案内します。国宝館内では鎧の試着体験も出来ます。

●受入期間/通年
 ●体験人数/神職一人につき30~40名まで。
 社務状況により職員数名で班分けの対応可

●体験可能時間/9:00~17:00

●料金/(5名以上)大人300円、高校生・中学生200円、
 小学生100円

マルヨ水産(株)

■住所/〒031-8504 八戸市築港街1-1-4
 ■TEL/0178-33-1161 ■URL/<http://www.e-maruyo.com>

ちくわ工場見学 (60分)

※現在受付を停止しております。事前にお問合せ下さい。

当社商品「かもめちくわ」の製造工程を見学して、焼きたてを味わいます。
 ●受入期間/通年 ●体験可能時間/9:00~13:00
 ●体験人数/10人~(要相談) ●料金/無料

※事前にご連絡下さい。

海上自衛隊八戸航空基地 MAP C-4

■住所/〒039-1180 八戸市高館
 ■TEL/0178-28-3011
 ■URL/<https://www.mod.go.jp/msdf/hatinohe>

基地見学ツアー

航空機や航空管制塔、消防車等装備品などの見学をします。

●対象者/中学生から32歳(保護者の参加も可)
 ●受入期間/通年※業務上の都合によりお受けできないこともあります。
 ●見学可能時間/平日 午前10時から2時間
 土日祝日 午前9時から3時間
 ●見学人数/2~30名程度 ●料金/無料
 ※申し込みについては、八戸航空基地広報室0178-28-3011(内線:2331)までお問い合わせ下さい。

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合は入場不可

八戸市水産科学館 マリエント

■住所/〒031-0841 八戸市大字鉢町字下松苗場14-33
 ■TEL/0178-33-7800 ■URL/<http://www.marient.org>

新型コロナウイルス等感染症対策として
 マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合は入場制限あり

深海水圧実験 (20分) A

水深1,000mの深海の世界の水圧を再現する実験。

デンキウナギの実験 (5分) B

デンキウナギが出した電気を使って行う実験。

エサやり体験 (15分) C

熱帯魚水槽や八戸で獲れる近海の魚、淡水魚水槽の魚たちへのエサやり体験。

マリンレンジャーによる魚たちへの餌付け (15分) D

大水槽にマリンレンジャー(ダイバー)が潜り、魚たちがエサを食べる様子を観察することができます。大水槽には主に八戸近海で獲れた魚やアオウミガメを展示。また、水槽の中からマリンレンジャーがお客様を水中カメラで撮影。来館記念の思い出の1枚としてマリエントホームページ「魚眼図」から自由にダウンロードできる。

海のふしぎBOX (15分) E

中身の見えない箱の中に手を入れ、想像力と推理力を發揮して、中に入っている海の生き物の正体を当てる内容。

ウミネコシアター (10~30分) F

30分毎の上映を行っております。回毎に内容が変わる。また、希望の時間と内容での上映も可能。

ガラ・ル・ファ (常時) G

トルコの温泉に住むコイの仲間。通称ドクターフィッシュと呼ばれ、人の古くなった皮膚の角質層を食べることで知られている。

タッチ水槽 (常時) H

通年にわたり、磯の生物に触れられる体験が出来る水槽。

しんかい6500に乗って深海へGO!VR体験 (3分) I

ゴーグル型装置を手に持ち、JAMSTECの有人潜水調査船「しんかい6500」から見た深海の様子を360度見ることができます。バーチャルリアリティー(VR)を体験。まるでしんかい6500へ乗っている気分を味わえる。

地球“ちきゅう”クイズにチャレンジしよう! (10~15分) J

地球誕生からの歴史について、深海生物について、地球深部探査船「ちきゅう」について、展示の中から答えを探るクイズで、展示コーナーの中にあるヒントをもとに、タブレットを首にかけ選択式の問題を展示を見ながら学べる仕組み。君も地球の物知り博士になろう!

	受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
A	通年	10:00~16:00	1~20人	9名以下2,160円、10名以上1,300円
B	6月下旬~7月上旬	9:00~16:00	10~150人	小学生500円、中学生以上800円
C	7月中旬~8月中旬	9:00~16:00	10~100人	小学生200円、中学生以上500円
D	9月下旬~11月中旬	9:00~16:00	10~100人	小学生300円、中学生以上500円
E	1月上旬~5月下旬	9:00~16:00	~100人	小学生1,400円、中学生以上1,600円

八戸市みなと体験学習館(みなとつち) MAP D-4

■住所/〒031-0812 八戸市湊町字館鼻67-7(館鼻公園内)

■TEL/0178-38-0385

■URL/<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/shisetsuannai/toshikoen/7789.html>

■休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)

12月29日~1月3日

エリア別体験施設一覧



山の樂校

MAP D-4

- 住所/〒031-0202 八戸市南郷大字島守字北ノ畠6-2
- TEL/0178-82-2222
- URL/<https://www.yamanogakkou.com>

そば打ち体験 (80分) A

地元の人が指導者となり、昔から伝承された南郷特有のそば打ちを学習します。煮上げから食べるところまで体験します。

てんぽせんべい焼き体験 (10分) B

南部鉄器のせんべい焼き器を使用し、昔の伝統食を体験します。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
A 通年	9:00~15:00	~40人	1,100円(小学生は800円)
B 通年	9:00~15:00	~40人	1枚100円

新型コロナウイルス等感染症対策として、マスク着用必須、発熱の場合入場制限あり

南の郷ツーリズム協議会

MAP D-4

- 住所/〒039-1101 八戸市大字尻内町字毛合清水29
(八戸市農業経営振興センター)
- TEL/0178-27-9163

農業体験 (1泊2日、2泊3日)

受入農家に宿泊し、各農家の田畠で農作業を体験。食事も受入農家と一緒に準備します。

- 受入期間/4月~10月
- 体験可能時間/8:30~17:00
- 体験人数/最大10人
- 料金/1泊2日8,000円、2泊3日13,500円(要相談)

間木ノ平グリーンパーク ふれあい牧場

MAP D-3

- 住所/〒039-1801 新郷村大字戸来字雨池11-2
- TEL/0178-78-2511
- URL/<http://www.marumarushingo.com>
- 火・水・木定休日。お盆期間は営業
- ※2021年1月31日現在の体験メニューのため要問合せ
- ※新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては中止する場合がございます。
- 事前にお問合せください。

牛の乳搾り体験 (2~3分/1名)

ふれあい牧場畜舎担当の指導の下、毎日30分実施しています。ホルスタインの特徴や上手く搾乳するコツ、衛生面などについて説明します。

- 受入期間/4月下旬~11月上旬
- 体験可能時間/13:15~13:45
- 体験人数/1~100人 ●料金/無料
- ※平日のみ15名以上の団体は予約すると時間外体験が可能です。
- ※要予約

ポニー乗馬体験 (3分/1周)

ふれあい牧場内にある専用コースにてポニー乗馬を体験します。

- 受入期間/4月下旬~11月上旬
- 体験可能時間/10:00~15:00 ●料金/1人1周400円

魚のつかみ取り体験 (体験時間は要相談)

水位が浅めの人口河川にてニジマスと岩魚のつかみ取りを体験します。取った魚は隣接する焼き場で塩焼きにできます。

- 受入期間/4月下旬~11月上旬
- 体験可能時間/9:00~15:00
- 体験人数/1~100人
- 料金/1kg(7~8匹)1,800円(体験料は無料)
- ※焼き場で食べる場合はセルフサービスになります。
- 炭火(400円/1kg)で販売しております。

はしかみグリーン・ツーリズム協議会

MAP D-4

- 住所/〒039-1201 階上町大字道仏字天当平1-87(階上町産業振興課内)
- TEL/0178-88-2875

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

はしかみの自然満喫・農業体験 (1泊2日、2泊3日)

春の田植えから夏野菜の収穫、秋の干し柿作りに冬の豆しとぎ作りと豆腐作り体験等、春夏秋冬に合わせた体験を楽しみ、お腹も心も満たす事が出来ます。

- 受入期間/通年
- 体験人数/最大15人
- 料金/1泊2日1人につき8,000円~、2泊3日1人につき13,500円

さんのへホームステイ連絡協議会

MAP D-4

- 住所/〒039-0198 三戸町大字在府小路町43(三戸町役場農林課)
- TEL/0179-20-1155

農業体験 (1泊2日、2泊3日)

農家に民泊し、各農家の田や畠でその時期に応じた農作業を体験します。食事の準備も受入農家と協力して行います。

- 受入期間/4月~10月
- 体験人数/最大40人
- 料金/1泊2日1人につき8,000円~、2泊3日1人につき13,500円

青森ごのへグリーン・ツーリズム協議会

MAP D-4

- 住所/〒039-1513 五戸町字古館21-1(五戸町役場農林課内)
- TEL/0178-62-7960

マスク着用、検温・消毒実施

農業1日体験 (2~4時間)

新玉ねぎ・桃・にんにくなどの農作業体験や、りんご・しいたけなどの地元食材を使った郷土料理作りを体験します。

- 受入期間/郷土料理:通年 農作業:6月~12月
- 体験可能時間/9:00~13:00
- 体験人数/最大30人
- 料金/1,500円~

農家民泊体験 (1泊2日~2泊3日)

農家に民泊し、その時期に応じた農作業を体験します。

食事の準備も受入農家と協力して行います。

- 受入期間/5月~10月
- 体験人数/最大4人
- 料金/1泊2日1人につき7,000円、2泊3日1人につき12,000円

たっこ・ツーリズム受入農家の会

MAP D-3

- 住所/〒039-0292 田子町大字田子字天神堂平81(田子町役場産業振興課内)
- TEL/0179-20-7114

農作業・農村生活体験 (1泊2日~2泊3日まで)

にんにくをはじめ、米、りんご、枝豆、葉たばこ、ホップ、きぬさや等の農作業を農家に民泊しながら体験します。

- 受入期間/5月~10月
- 体験人数/最大50人
- 料金/7,000円(1泊2日)~、12,000円(2泊3日)

下北半島周辺

むつ市海と森ふれあい体験館

MAP B-3

- 住所/〒039-5201 むつ市川内町川内477
- TEL/0175-42-2411
- URL/<http://www.mutsu-taikenkan.jp>

ドルフィンウォッチングinむつわん(エコ・ジオツアー) (60分)

日本有数の野生のカマイルカの観察ポイントであるむつ湾。波おどやかなむつ湾を遊覧船でクルーズしながら、時に100頭を超えるイルカの群れや下北ジオパークの美しいジオサイトを観察します。

- 受入期間/5~6月
- 体験可能時間/①9:00~10:00、②11:00~12:00
- ※むつ市観光課まで要問い合わせ

- 体験人数/最大75~150名(75名を2回)
- 料金/中学生以上1,800円 小学生以下900円(船代)

※事前にレクチャー、乗船中ガイド、事後にまとめを行います。※要予約(体験館まで)

むつ市陶芸センター

MAP A-3

- 住所/〒039-5201 むつ市川内町獅子畠128-1
- TEL/0175-42-2115

陶芸体験 (90分)

むつ市(川内地区)の伝統工芸品である宇賀焼のマグカップ、湯飲みなどを実際に製作します。

- 受入期間/通年(要予約) ●体験可能時間/9:00~16:00
- 体験人数/1回16人まで ●料金/1,000円(完成品送料は着払い)

マスク着用、検温・消毒、発熱の場合入場制限あり

海上自衛隊大湊地方隊

MAP A-3

- 住所/〒035-0093 むつ市大湊町4-1
- TEL/0175-24-1111(内線2304)
- URL/<http://www.mod.go.jp/msdf/oominato/>

海上自衛隊見学

MAP A-3

見学場所	時期	時間	人数
北洋館見学	4月~12月(1月~3月は土日祝日のみ)	9:00~16:00	1人~
護衛艦等見学	4月~11月の土日祝日、悪天候時は中止	13:30~14:30	1人~(※1)
基地内見学	要予約	要相談	10名以上の団体に限る

(※1)団体での見学は事前申請が必要(要予約)

野外地域活動 (2~6時間) A

豊かな自然の中で、動植物の観察から、夏は登山、いかだ遊び、冬季はスノーシューハイキングなど多種多様な野外活動が体験できます。

雨の粒ハイキング (2~3時間) B

滝つぼに飛び込んだりしながら川を下り、川の源流から海までの水の旅を体験します。

自然創作活動 (30~120分) C

枝や木の実、葉など自然の素材を使って、しおりや木工作品などを自由に創作します。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
A 通年	9:00~17:00	最大200人	下記参照
B 夏	9:00~17:00	最大100名	下記参照
C 通年	9:00~17:00	最大200人	下記参照

※施設利用料(230円~)と材料費(100円~)、また宿泊する場合は、宿泊費(580円~)、食事費(朝食・昼食各410円、夕食510円)が必要です。事前にご予約下さい。季節や天候により出来ない活動もあります。

八戸屋

MAP A-3

- 住所/〒035-0051 むつ市新町47-3
- TEL/0175-22-3324
- URL/<http://www.hachinoheya.co.jp>

手焼せんべい体験 (30~90分)

南部鉄でできた焼き型を使って、昔ながらの手焼き体験をします。

- 受入期間/通年(但し繁忙期は休ませて頂く事もあります)
- 体験可能時間/10:00~15:00 ●要予約

- 体験人数/5~30人 ●料金/1枚120円

新型コロナウイルス感染症対策として
マスク着用必須、検温・消毒をして頂いております。
発熱などの症状がある場合、ご来店を控えて頂いております。

恐山

MAP A-3

- 住所/〒035-0021 むつ市大字田名部字宇曾利山地内

- TEL/090-4041-7782

恐山境内ガイドとともに境内を一周。歴史や謂れ、参拝方法などの説明を受けます。

- 受入期間/5月1日~10月31日
- 体験可能時間/

エリア別体験施設一覧

泊まる

民宿・小向

MAP
A-4

- 客室数／20室
- 住所／〒035-0011 むつ市大字奥内字金谷沢1-2
- TEL／0175-26-2764

農作業体験（60分）

- ジャガイモ・大豆・トウモロコシ・カボチャ・米の農作業体験をします。
- 受入期間／4月～11月 ●体験可能時間／10:00～11:00
- 体験人数／10～50人 ●料金／1名1,000円～

東通原子力発電所PR施設「トントウビレッジ」

MAP
A-4

エネルギーと科学について学ぶ [P22参照]

六ヶ所村次世代エネルギーパーク

MAP
B-4

- 住所／〒039-3213 上北郡六ヶ所村大字鷹架字道ノ下561番地6 一般社団法人六ヶ所村観光協会
- TEL／0175-71-3115 FAX／0175-71-3116
- 六ヶ所村次世代エネルギーパーク見学問合せ窓口 見学についての詳細は「インフォメーションセンター（六ヶ所村特産品販売所「六旬館」内）HPアドレスhttp://6shunkan.com/」※電話・FAXでお問合せ下さい。
- 受付時間／8:30～10:00（臨時休館有）※各施設見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

六ヶ所原燃PRセンター

MAP
B-4

- 住所／〒039-3212 六ヶ所村大字尾駒字上尾駒2-42
- TEL／0175-72-3101

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱（37.5℃以上）の場合入場制限あり

エネルギーと科学について学ぶ [P22参照]

放射線測定体験（20～30分）

- 身のまわりのさまざまな物を放射線測定器で測定します。
- 身のまわりに放射線が存在することを知ることができます。
- 受入期間／通年 ●体験可能時間／9:00～17:00
- 体験人数／最大48名 ●料金／無料

環境科学技術研究所

MAP
B-4

エネルギーと科学について学ぶ [P22参照]

むつ小川原国家石油備蓄基地

MAP
A-3

- 住所／〒039-3212 上北郡六ヶ所村大字尾駒字二又525-2
- TEL／0175-73-3111

むつ小川原国家石油備蓄基地（30分）

- さまざまな施設の模型やパネル、映像などでの説明コーナーがあり、役割やしくみを詳しく紹介します。
- 高さ24mの展望室からは、広大な原油タンク群を一望することができます。
- 受入期間／通年（平日のみ） ●体験可能時間／9:30～16:00
- 体験人数／最大40名 ●料金／無料
- ※見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

TEL0175-71-3115

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

むつ小川原ウインドファーム

MAP
A-3

- 住所／〒039-3212 上北郡六ヶ所村大字尾駒字上尾駒72-1
- TEL／0175-71-0441

むつ小川原ウインドファーム（30分）

- 風力発電のしくみや、むつ小川原ウインドファームの特徴を紹介する映像を見るることができます。
- 受入期間／通年（平日のみ）冬期間1月～3月条件付
- 体験可能時間／9:30～17:00
- 体験人数／最大40名 ●料金／無料
- ※見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

TEL0175-71-3115

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

二又風力開発（株）／六ヶ所村二又風力発電所

MAP
A-3

- 住所／〒039-3212 上北郡六ヶ所村大字尾駒字弥栄平1-87
- TEL／03-3519-7250

二又風力開発（株）／六ヶ所村二又風力発電所（30分）

- 風力発電機の最上部（羽根のつけ根）にあるナセルを間近で見学することができます。
- 受入期間／通年（平日のみ）※毎月末29日～翌月3日まで見学不可
- 体験可能時間／10:00～15:00
- 体験人数／最大20名 ●料金／無料
- ※見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

TEL0175-71-3115

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

国際核融合エネルギー研究センター

MAP
A-3

- 住所／〒039-3212 上北郡六ヶ所村大字尾駒字表館2-166
- TEL／0175-71-6500

国際核融合エネルギー研究センター（45～120分）

- 太陽や恒星のような核融合エネルギーについて学ぶことができます。次世代エネルギーとしての重要な役割を担うだけに世界から注目されています。
- 受入期間／通年（平日のみ） ●体験可能時間／10:00～16:00
- 体験人数／最大20名 ●料金／無料
- ※見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

TEL0175-71-3115

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

六趣醸造工房 太陽光発電システム

MAP
A-3

- 住所／〒039-3213 上北郡六ヶ所村鷹架内子内337-3
- TEL／0175-71-3335

六趣醸造工房 太陽光発電システム（15分）

- 太陽光発電により作られた電力が工房内で使われていて、その一連の流れを見学することができます。
- 受入期間／通年（毎週月曜日、お盆、年末年始は休館）
- 体験可能時間／10:00～15:00
- 体験人数／最大20名 ●料金／無料
- ※見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

TEL0175-71-3115

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

エネワンソーラーパーク 六ヶ所村

MAP
A-3

- 住所／〒039-3212 上北郡六ヶ所村大字尾駒字弥栄平219-2
- TEL／03-6777-0230

エネワンソーラーパーク 六ヶ所村（15分）

- 敷地内には太陽光パネルを一望できる展望台があり自由に見学することができます。
- 受入期間／通年 ●体験可能時間／10:00～16:00
- 体験人数／1名～（現地説明を希望の場合は10名～）
- 料金／無料
- ※見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

TEL0175-71-3115

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

睦栄風力発電所

MAP
A-3

- 住所／〒039-3215 上北郡六ヶ所村倉内字芋ヶ崎324-2
- TEL／0175-74-3285

睦栄風力発電所（15分）

- 大型かつ迫力があり、県内では唯一風下にてブレードを回転させ発電を行う「ダウンウンドロータ方式」を採用した風車であり、発電効率の良いスタリッシュな風車を見学することができます。
- 受入期間／通年（平日のみ）※冬季積雪時休館
- 体験可能時間／10:00～16:00
- 体験人数／最大20名 ●料金／無料
- ※見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

TEL0175-71-3115

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

上北六ヶ所太陽光発電所

MAP
A-3

- 住所／〒039-3212 上北郡六ヶ所村大字尾駒字上弥栄1-1
- TEL／0175-71-3115

上北六ヶ所太陽光発電所（15分）

- 展望台を設置していて、太陽光パネル、石油備蓄基地や風力発電所も一望することができます。
- 受入期間／通年（12～3月は閉館）
- 体験可能時間／10:00～17:00
- 体験人数／最大20名 ●料金／無料
- ※見学案内なし、自由見学のみ。※見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

TEL0175-71-3115

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

青森県量子科学センター

MAP
A-3

- 住所／〒039-3212 上北郡六ヶ所村大字尾駒字表館2-190
- TEL／0175-72-1270

青森県量子科学センター（45～90分）

- 量子科学分野の研究開発活動の内容をパネル等で説明をするほか、最先端の研究機器等を紹介します。
- 受入期間／通年（平日のみ）
- 体験可能時間／9:00～17:00
- 体験人数／最大20名 ●料金／無料
- ※見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

TEL0175-71-3115

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

ユーラス六ヶ所ソーラーパーク

MAP
A-3

- 住所／〒039-3213 上北郡六ヶ所村鷹架道ノ下718-4
- TEL／03-5404-5363

ユーラス六ヶ所ソーラーパーク（30分）

- 見学設定は一般開放していて、太陽光パネルが一望できます。
- 受入期間／4～11月
- 体験可能時間／9:00～17:00
- 体験人数／規定なし ●料金／無料
- ※見学予約については2週間前までに六ヶ所村観光協会までご連絡ください。

TEL0175-71-3115

マスク着用必須、検温・消毒実施、発熱の場合入場制限あり

わいどの木

MAP
A-3

- 住所／〒039-4502 風間浦村大字易国間字大川目6-7
- TEL／0175-35-2147 ■URL／http://ydonoki.jp/

※木工体験は中止となりました。店の見学は可能です。

風間浦村観光協会

MAP
A-3

- 住所／〒039-4502 風間浦村大字易国間字大川目118
- TEL／0175-35-2010 ■URL／http://www.kazamaura.jp

元祖鳥賊様レース（約10分／回）

- スルメイカを6コースに仕切った20mの特設レース場で泳がせ、速さを競うレースの体験を行います。
- 受入期間／7月中旬～10月下旬
- 体験可能時間／10:00～16:30 ●体験人数／1レース6人まで
- 料金／600円 ※予約対応可能
- ※申込先／活イカ備蓄センター TEL:0175-36-2112 時化等でイカがない場合中止
- ※要確認

ヒバ開発株式会社

MAP
A-3

- 住所／〒039-4601 下北郡大間町大間76-2
- TEL／0175-37-4711 ■URL／http://www.aomori-hiba.com/

バスボム（入浴剤）等の製造体験（60分）

- 青森ひばの香り、効果を嗅覚、視覚、触覚で感じ、バスボムの製造体験を通じ、モノづくりの楽しさを実感します。
 - 受入期間／通年 ●体験可能時間／10:00～15:00
 - 体験人数／1～10名 ●料金／3,300円
 - ※オリジナルコースター、ストラップ、箸など相談に応じ体験メニューの組み合せ対応可能
- </